

1. 大学での「学修」について

大学での学びは「学習」ではなく、「学修」と表現します。この両者の違いは、「学習」は単に学び習うことに対し、「学修」は学び修める（身に付ける）ことだと言われています。これから大学での学修について説明していきます。

1. 「教育目標」と「学位授与方針」

皆さんの所属している学部学科にはそれぞれ「教育目標」と「教育課程編成方針（カリキュラムポリシー）」、「学位授与方針（ディプロマポリシー）」が定められています。

「教育目標」とは、この学科では大学教育を通じてこのような人材を育成していきたいという内容のものです。皆さんは在学中に、学部学科の「教育目標」に向け「教育課程編成方針（カリキュラムポリシー）」に基づいて用意された教育課程（カリキュラム）を受講しながら、少しずつ着実に「大学生として必要な知識と能力」を身に付けていくことになります。

そして、それらの力がしっかりと身に付いた証として、卒業時に「学士」という学位（ディプロマ）が授与されます。この「大学生として必要な知識と能力」を具体的に記したものを「学位授与方針（ディプロマポリシー）」と言います。

各学部学科の「教育目標」および「教育課程編成方針（カリキュラムポリシー）」と「学位授与方針（ディプロマポリシー）」は、履修要項の最初に掲載していますので、各自で確認してください。

2. 年間のスケジュール

年間の行事予定や授業カレンダーを巻頭部分に掲載しています。年度によって異なりますが、祝日に授業を行ったり、本来の曜日とは異なる曜日の授業を行ったり（例えば、水曜日に月曜日の授業を行うなど）することがありますので、毎年必ず授業カレンダーは確認するようにしてください。

3. セメスター制度

本学では、セメスター制度を採用しています。セメスター制度とは、1年を前期と後期に分けて、それぞれの学期で1つの科目が完結する制度のことです。

4. 履修登録制度

「履修^{りしゅう}」とは、教育課程（カリキュラム）に定められている授業科目を自ら選び、学修することを言います。大学では高校までと異なり、履修や学生生活に関するすべてのことが自分の責任に委ねられています。それだけに、各自が履修制度について十分に理解することが大切です。

授業を受けるには、履修する科目を登録するための手続き、履修登録が必要です。履修登録を行わないと、授業への出席や試験を受験することができません。また、成績評価は、履修登録を行った科目についてのみ行われます。

履修登録をする際は、自身の4年間の学修計画のもと、シラバスに書かれている授業の目的や到達目標をよく理解したうえで行うようにしましょう。

具体的な履修登録方法は、別に配られる「履修登録マニュアル」で確認してください。

なお、正当な理由がなく所定の期日までに履修登録を行わない場合は、札幌学院大学学則第32条第5号の規定により除籍となりますので、注意してください。

5. 単位制度

日本の大学は、本学も含めて単位制度を採用しています。単位とは、決められた時間分の学修をし、科目ごとに定められた到達目標に達した場合に与えられる量のことであり、数字（単位数）で表します。すべての授業科目にこの数字（単位数）が定められており、この単位数を積み重ねることで、卒業が可能となります。このように、単位数を積み重ねて卒業の条件をクリアさせる制度のことを単位制度と言います。

さて、「単位とは、決められた時間分の学修をし、・・・」と書きました。では、「決められた時間」とは、どの程度の時間を言うのでしょうか？

札幌学院大学学則第9条に、単位数の計算方法に関する規定があります。

【札幌学院大学学則第9条第1項のみ一部抜粋】

(単位数の計算方法)

第9条 前条*の単位数を定めるに当たっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、・・・・・・・・・・

※学則第8条の2（科目と単位数を定めた条文）

このように学則上、1単位を得るためには45時間の学修時間が必要となっています。したがって2単位を得るためには、最低90時間の学修をしなければなりません。

大学の多くの科目は半期15回の授業回数で2単位となっています。1回の授業は90分（1.5時間）ですが、これを日本の大学では慣例で「2時間」とみなします。よって、授業を15回受講すると2時間×15回＝30時間です。

上述のように、2単位を得るための学修時間は90時間必要ですから、60時間不足していることとなります。この不足している60時間を補うのが、事前・事後学修です。そのために、シラバスには、必ず事前・事後学修の内容が明記されており、授業担当者からも指示があります。

単位を得て大学を卒業するためには、これほどの学修時間が必要となるということですから、毎日学修する習慣を身につけましょう。

6. 卒業に必要な単位数と単位修得のための基本要件

卒業に必要な単位数はどの学部学科であっても合計で124単位です。しかしながら、124単位の内容は学部学科で異なりますので、詳細については必ず各学科のページで確認してください。

ここでは、1つの授業科目に定められた単位を修得するための3つの要件をお伝えします。

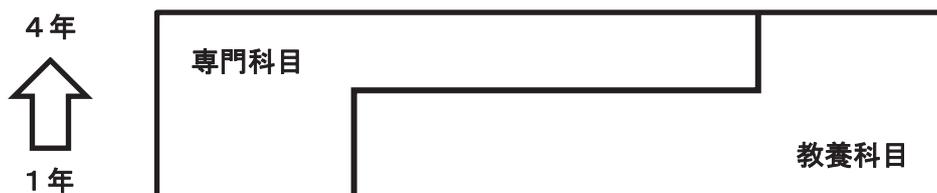
- ①単位の認定を受けようとする科目について、履修登録をすること。
- ②その科目の授業に出席し、必要な学修をすること。
- ③その科目の試験を受け、その成績評価で合格（60点以上）をすること（レポート、論文等をもって試験とする場合等があり、必ずしも教室における筆答試験とは限りません。詳細は、シラバスの成績評価の基準と方法で確認してください）。

7. 教養科目と専門科目の関係

授業科目は、学部学科を問わず大学で学ぶ上の基礎知識や技能を身につけたり、広く一般的な教養を深めるための「教養科目」と、学部の専門性に特化した「専門科目」からなります。皆さんは、これら2つの科目区分から、卒業するために必要な一定の単位数を満たすように授業科目を履修し、単位を修得しなければなりません。

「教養科目」の多くは1年次から履修登録ができるように配置されており、高学年で学ぶ学部学科ごとの「専門科目」の土台となる授業科目です。もちろん、「専門科目」であっても1年生から学ぶ基礎的な授業科目もあります。この両者の関係を図で表すと、次のようなイメージになります。

【教養科目と専門科目の履修イメージ】



8. 履修登録単位数の上限

「5. 単位制度」の箇所でも説明したように、2単位を得るためには、90時間の学修時間が必要ですから、1年間に履修登録できる単位数には上限があります。履修登録単位数の上限は、学部・学科・学年ごとに、次のように定められています。

学部・学科	1年	2年	3年	4年	履修登録単位数の上限に含めない科目
経済経営学部 経済学科	42単位	48単位	48単位	48単位	教職課程等諸資格課程設置科目 夏期集中講義科目 秋期集中講義科目 すべての授業回が授業期間外で行われる授業科目 札幌圏単位互換協定に基づく履修科目 他大学で修得した科目を認定した科目 資格取得による認定科目
経済経営学部 経営学科	48単位	48単位	48単位	48単位	
心理学部 臨床心理学科	48単位	48単位	48単位	48単位	
人文学部 人間科学科	48単位	48単位	48単位	48単位	
人文学部 英語英米文学科	48単位	48単位	48単位	48単位	
人文学部 こども発達学科	48単位	48単位	48単位	48単位	
法学部 法律学科	48単位	48単位	48単位	48単位	

上記に示すとおり、教職課程等諸資格課程設置科目など履修登録単位数の上限に含めない科目もありますが、1単位を得るために必要な学修時間から判断し、履修登録単位数は年間60単位以内に抑えるようにしてください。

9. 面接授業と遠隔授業

授業形態には、「面接授業」と「遠隔授業」があります。「面接授業」とは、教室等で行う対面での授業であり、「遠隔授業」とは、多様なメディアを高度に利用して教室等以外の場所で行う授業です。どの科目が「面接授業」で、どの科目が「遠隔授業」なのかは毎年変更しますので、ガイダンス等で確認するようにしてください。

学生のみなさんが知っておかなければならないのは、本学は通信制の大学ではありませんので、遠隔授業だけで本学を卒業することはできないということです。**遠隔授業が卒業要件として認められるのは、60単位が上限となります。**そのため、各自で履修登録した科目のうち、どの科目が「面接授業」でどの科目が「遠隔授業」なのかをしっかりと把握し、遠隔授業が60単位を超えないよう注意してください。

例えば、卒業に必要な124単位の内、「面接授業」が60単位で「遠隔授業」が64単位では、卒業

要件として認められるのは120単位しかありません。4単位不足で卒業延期となります。このような間違いを起こさないようにするために、皆さんの自己管理が求められます。

10. 本学以外の大学等で修得した単位の取り扱い

本学において教育上有益と認められるときは、本学以外の大学等での学修及び入学前の科目等履修制度により修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得した単位として認定することができます。

また、本学が協定を締結している国内外の他大学に、協定に基づく留学や短期の単位認定を伴うプログラムに参加した場合も単位認定が可能な場合があります。

(1) 対象学生及び単位認定申請手続き

1) 入学前に既修得単位がある場合

■対象者

- 大学、短期大学、専修学校の専門課程の卒業生、中途退学者
(注意：単位認定を認める専修学校の専門課程には一定の基準があるので、教育支援課に確認すること)
- 本学の科目等履修制度により科目等履修生として在学したことがある者

■単位認定申請手続き

- 入学前の既修得単位の認定を受けようとする者は、入学時の履修登録までに教育支援課へ申請手続きをしてください。
- 教育職員免許状の取得に必要な科目は大学において履修・修得する必要があります。教育職員免許状取得を考えている学生は、教育支援課・教職課程担当（江別キャンパス・3号館1階）まで相談をしてください。

2) 入学後に国内留学及び外国留学により修得した単位の場合

(詳細は、各制度の章で確認のこと)

■対象者

- 単位互換協定を締結している国内の大学への留学により単位認定を受けた者
- 本学と協定を締結している外国の大学への留学により単位認定を受けた者

■単位認定申請手続き

- 国内留学及び外国留学により修得した単位の認定を受けようとする者は、留学後すみやかに教育支援課へ単位認定の申請をしてください。
- 教育職員免許状の取得に必要な科目は大学において履修・修得する必要があります。教育職員免許状取得を考えている学生は、教育支援課・教職課程担当（江別キャンパス・3号館1階）まで相談をしてください。

(2) 本学以外の大学等で修得した単位を本学で認定できる上限

認定できる単位数は、各種英語検定によって認定された単位と合わせて60単位を上限とします。

区 分	認定できる単位数の上限
入学前の既修得単位	合計60単位
各種英語検定により認定された単位	
入学後に国内留学及び外国留学により修得した単位	

11. 各種英語検定による単位認定制度

本学入学前又は入学後において文部科学省が認定する外国語の技能検定試験等を受験し、本学が定めるレベルに該当する場合は、単位を認定することができます。詳細は教育支援課窓口にお問い合わせください。

(1) 各種英語検定の認定基準

区分及び認定単位数	種 類	レベル	認定対象科目
A区分 1単位	TOEIC (TOEIC-IPを含む)	470点～645点	英語 I A～IV A 英語 I B～IV B 応用英語 A～D 全12科目 各1単位
B区分 2単位以内	英検 TOEIC (TOEIC-IPを含む) TOEFL iBT (Internet-Based Test) TOEFL ITP	2級 650点～730点 45点～67点 450点～519点	
C区分 4単位以内	英検 TOEIC (TOEIC-IPを含む) TOEFL iBT (Internet-Based Test) TOEFL ITP	準1級以上 735点以上 68点以上 520点以上	

(2) 認定できる上限単位数

認定できる単位の上限は、試験の種類に関わらず**A区分は1単位まで、B区分は2単位まで、C区分は4単位までとします**。ただし、トータルで4単位を超えて認定することはできません。つまり、A区分で過去に1単位の認定を受けた者がB区分の申請をしても、認定できる単位数の上限は1単位までとなります。B区分で過去に2単位の認定を受けた者がC区分の申請をしても、認定できる単位数の上限は2単位までとなります。

(3) 申請の対象となる期間

新入生の入学前の資格取得は、いかなる時期において取得したものでも単位認定の申請対象とすることができます。申請の締切は、ガイダンスで説明します。2年生以上の学生は、前年度において資格取得したもののみを単位認定の申請対象とします。ただし、4年生以上の学生は当該年度に取得したものも申請対象とすることができます。

(4) 認定の申請

認定機関が発行する認定証を、毎年度4月の履修登録の一定期間内に教育支援課に提出してください。ただし、4年生以上の学生は4月の申請時期に加えて、当該年度に資格取得したものを前期末、年度末にそれぞれ申請することができます。なお、「認定申請をするか、しないか」は、「資格取得者」の自由意志に基づきます。

(5) 教育職員免許状取得に関する注意

「英語 I B・II B」は、教育職員免許状を取得するための必修科目です。これらは、大学で修得することが求められます。つまり、**各種英語検定試験で「英語 I B・II B」を認定すると、その科目は大学で修得した単位ではないので、教育職員免許状に使用することができません**。ご注意ください。

Ⅱ. 履修登録について

大学では高校までと異なり、履修や学生生活に関するすべてのことが自分の責任に委ねられています。それだけに、各自が履修登録制度について十分な理解のもと、履修登録をすることが望まれます。

ここでは、履修登録制度を理解するために、そして履修登録を行うにあたって、是非とも参考にしていただきたい点について説明します。

1. 「履修登録マニュアル」

授業科目の履修登録には、いくつかのルールがあります。そのルールや履修登録の期間等について細かく示したものが「履修登録マニュアル」です。毎年、年度始めのガイダンスで印刷して配布するほか、情報ポータルキャビネットにも格納しています。必ずその年度の「履修登録マニュアル」でルール等を確認しながら履修登録を行ってください。

履修登録の際に参考にしてほしいものとして、履修登録マニュアルのほか、シラバスや科目ナンバーがあります。次に、これらについて説明をします。

2. シラバス

シラバス (Syllabus) とは、各授業科目の講義概要や到達目標、評価方法、講義計画等が記載されたものです。本学で開講されている全ての授業科目は、Web上に公開されたそれぞれのシラバスに沿って実施されます。

シラバスには、授業科目名だけではわからない、詳細な情報が記載されています。学生の皆さんはシラバスを熟読し学修計画を立て、系統的な履修を行ってください。シラバスには、主に次のような情報が掲載されています。

- ①授業科目名・科目ナンバー・科目担当者等
- ②授業のねらい
- ③履修者が到達すべき目標
- ④ディプロマ・ポリシーとの関係
- ⑤授業の進め方・学修上の助言
- ⑥授業内容・計画・事前事後学修
- ⑦成績評価の基準と方法・課題に対するフィードバックの方法
- ⑧テキスト・参考文献
- ⑨教員e-mailアドレス
- ⑩オフィスアワー

上記のように、シラバスには教員の電子メールアドレスやオフィスアワー（特定の時間に必ず教員が研究室に在室する時間帯のこと）が記載されています。授業中に質問できなかったことや、事前・事後学修で気付いた疑問点などがあれば、メール等を使って確認するようにしてください。

なお、Webシラバスの閲覧方法については、履修要項の「Webシラバスの使い方」の章を参照してください。

3. 科目ナンバー

科目ナンバーとは、授業科目に適切な番号（科目ナンバー）を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことです。本学では科目ナンバーを、10桁のアルファベットと数字の構成で表すこととし、2020年度から全ての学部・研究科で導入しています。

科目ナンバーを用いることで、学びたい分野で開講されている科目とそのレベルを参照することができます。

(1) 科目ナンバーの仕組み

科目ナンバーはすべて10桁で表しています。左から学科コード（3桁）、分野コード（3桁）、難易度コード（1桁）、通し番号（3桁）です。

例えば、教養科目「英語 I A」の科目ナンバーは「Z00LNG1001」ですが、これは次の内容で構成されています。

- ①学科コード（3桁） ⇒ Z00
- ②分野コード（3桁） ⇒ LNG
- ③難易度コード（1桁） ⇒ 1
- ④通し番号（3桁） ⇒ 001

(2) 科目ナンバーの意味

- ①学科コード（3桁）・・・その科目が開講されている学科を3桁で表します。

学 科	コード
人間科学科	H
英語英米文学科	L
こども発達学科	D
臨床心理学科	F
経営学科	Q
経済学科	G
法律学科	J
諸資格課程	Y
教養科目	Z

科目によっては、いくつかの学科で共通に開講している科目があります。その全ての学科等を表すために3桁を設けています。表し方は、左からアルファベット順としています。学科コードが1つ、もしくは2つで良い場合は、残りの桁には0を表示しています。先の「英語 I A」は教養科目のみですので、「Z00」という表記になります。

- ②分野コード（3桁）・・・その科目が属する分野を3桁で表します。

分 野	コード
語学	LNG
教養科目	LBA
キャリア科目	CAR
グローバル科目	GLO
地域連携科目	REG
演習、フィールドワーク科目	SEM
専門基礎科目	BAS
専門応用科目	EXP
教職科目	EDU
学芸員科目	CRT
社会教育主事科目	SED

「英語 I A」は語学ですので、「LNG」という表記になります。

③難易度コード（1桁）・・・その科目の難易度を1桁で表します。

難易度	コード
入門（主に1年生担当科目）	1
中級（主に2年生担当科目）	2
上級（主に3・4年生担当科目）	3

「英語ⅠA」は1年次担当科目ですので、「1」という表記になります。

④通し番号（3桁）・・・学科コードから分野コードまでが同一の科目を一つのグループとして3桁の通し番号を付しています。

（3）科目ナンバーの掲載場所

科目ナンバーは、講義名等が書かれているシラバスの上段部分に掲載されていますので、履修登録の際に参考にしてください。

4. 開講キャンパスが異なる科目を履修登録する場合の注意事項

本学は、2021年度から江別キャンパスと新札幌キャンパスに分かれて授業を行っています。学科指定がされていない限り、他学部他学科履修制度などを利用して、どちらのキャンパスの授業も履修可能ですが、移動時間の関係で次の点に注意してください。

同じ期の同じ曜日に、1－2講時、3－4講時、5－6講時で連続して履修できるのは、同じキャンパスで開講される科目に限ります。すなわち、2－3講時、4－5講時以外の連続した時間帯で、同日に別キャンパスで開講される授業科目を履修登録することは、禁止とします。

履修登録はシステム上可能ですが、実態として受講ができないので、くれぐれもご注意ください。上記のような、キャンパスをまたぐかたちで連続した時間帯の科目の履修登録を行い、その結果として科目担当の教員に配慮を要請することは絶対にしないでください。各教員には、このような理由の配慮は行う必要がないことを伝えてあります。

なお、キャンパス間の移動は各自で行っていただきます。

5. 履修登録科目の変更

履修登録期間中及び履修登録確定後3日以内は、履修登録科目の変更を行うことができます。ただし、変更可能な期間中であっても、人数制限講義の抽選確定後や指定必修科目などは、**卒業や資格取得に直接かかわるような場合を除き、原則として変更を認めません。**

また、**履修登録科目の変更可能期間経過後は、変更を認めません。**したがって、しっかりと履修計画を立て、熟考のうえ登録するようにしてください。

なお、履修登録科目を変更したことにより、授業に参加できなかった回があったとしても、特段の配慮はしません。

6. 履修登録取消制度

履修登録をして授業に出席したものの、授業の内容が学びたい内容と違っていた場合や、授業についていくことができないために履修科目数を減らしたいといった場合などに、学生のみなさんは、これらの科目の取り消しを申請することで評価の対象から除外し、GPAの対象外とすることができます。これを本学では、「履修登録取消制度」と呼びます。授業が本格的に始まる前に履修科目を変える「履修登録科目の変更」（上記「5.」）とは異なります。

ただし、無条件で取り消しができるわけではありません。この制度を利用する際には、次の点に留意してください。

(1) 履修登録取消不可の科目

次の科目は、履修登録を取り消すことができません。

- ①人数制限講義（抽選講義）で落選者のいる科目
- ②実習費等を徴収している科目
- ③集中講義科目
- ④必修の演習科目
- ⑤その他、科目担当者が授業運営上の理由から履修取り消しを認めない科目

(2) 履修取消申請期間と申請方法

履修取消には、決められた申請期間があります。希望する学生は期間中に教育支援課に申し出てください。期間内に取消手続きを行わなかった場合は、履修登録したすべての科目が成績評価の対象となります。

申請期間は、前期は5月下旬、後期は11月上旬を予定しており、毎年の履修登録スケジュールの中で周知します。

(3) 履修取消ができる科目の数

履修取消できる科目は、前期2科目（前期科目と通年科目）、後期2科目（後期科目のみ）までです（前期取消期間経過後の通年科目の取り消しは認めません）。

(4) 追加履修不可

履修取消をした科目の代わりに、別の科目を追加履修することはできません。取り消した科目の単位数は、1年間に履修登録できる単位数の上限に含みます。取り消す際には、慎重な判断をしてください。

(5) 履修取消をした科目の成績通知書上の表記

履修取消をした科目は、成績通知書の評価欄や情報ポータルでの成績照会欄には「取消」と表示されます。「取消」となった科目については、GPA計算の対象外となります。

なお、履修取消をした科目は、就職活動時などに使用する成績証明書には表示されません。

Ⅲ. 学修のための基礎知識

1. 授業時間と講時

1 講時あたりの授業時間は90分です。ただし、定期試験期間中の試験時間は原則として60分とします。

〈授業時間〉

講 時	開始時刻～終了時刻
1 講時	9 : 10～10 : 40
2 講時	10 : 50～12 : 20
昼休み	12 : 20～13 : 00
3 講時	13 : 00～14 : 30
4 講時	14 : 40～16 : 10
5 講時	16 : 40～18 : 10
6 講時	18 : 15～19 : 45
7 講時	19 : 50～21 : 20

〈定期試験時間〉

講 時	開始時刻～終了時刻
1 講時	9 : 30～10 : 30
2 講時	11 : 00～12 : 00
昼休み	12 : 00～13 : 00
3 講時	13 : 00～14 : 00
4 講時	14 : 30～15 : 30
5 講時	16 : 00～17 : 00
6 講時	17 : 30～18 : 30

2. 休講・補講

- 1) 授業が休講になる場合は、情報ポータルで通知します。
- 2) 休講の連絡や特別な指示がない場合で、授業開始時間を20分経過しても科目担当者が教室に来ない場合には、教育支援課に問い合わせ指示を受けてください。
- 3) 休講になった授業は、原則として補講を行います。補講の実施は、予め情報ポータルにて通知します。

3. 特別欠席・公認欠席・感染症による欠席

本学では、(1) 特別欠席(忌引き)、(2) 公認欠席、(3) 感染症による欠席の3点について、授業を欠席することがやむを得ないものとして認めています。

ただし、授業そのものを欠席した事実には変わりはありませんので、学生のみなさんには、出席していたと同等の成果が得られるよう自主的な努力が求められます。

なお、一部の科目では公認欠席も認められない場合があるので、各自で確認してください。

また、これらに該当しない一般の欠席(例えば、通常の風邪やケガ等)については、大学への特段の手続きはありません。欠席した次の授業時間に直接担当教員に申し出て配布資料を得るなど、自分で判断をして対処してください。病気やケガ等で、長期にわたり出席が困難な状態にある場合は、教育支援課まで連絡してください。

以下、(1)～(3)の内容と手続き方法を説明をします。

(1) 特別欠席（忌引き）

親・兄弟等に不幸があった場合、忌引きによる特別欠席を願い出すことができます。対象者の続柄によって認められる欠席日数が異なりますので、下表を参照してください。

1) 忌引きによる特別欠席の取り扱い日数

区 分	日 数	参 考
配偶者	10日以内	
1 親 等	7日以内	父母、子供、配偶者の父母
2 親 等	3日以内	祖父母、兄弟・姉妹、配偶者の祖父母、配偶者の兄弟姉妹
3～6 親等	1日	曾祖父・曾祖母、伯（叔）父・伯（叔）母、甥・姪、配偶者の曾祖父・曾祖母、配偶者の伯（叔）父・叔（叔）母、配偶者の甥・姪

※遠方のため、行程に日数を要する場合は行程の日数を別に認める場合があります。

2) 特別欠席の手続き

忌引き日数経過後、速やかに情報ポータルにある「窓口データキャビネット」から届出様式をダウンロードし、必要事項を記入・押印の上、死亡証明書等（写し、会葬礼状ハガキでも可）を添付し、教育支援課の確認印を受けてから、直接授業担当者に提出してください。

(2) 公認欠席

教育実習や各種課外活動の大会等で授業を欠席する場合、本人の願い出により公認欠席として認める場合があります。公認欠席として認められるのは、半期科目は1回、通年科目は2回です。どのような理由の時に公認欠席が認められるのかは、下表を参照してください。

1) 公認欠席の種類と担当課

種 類	範 囲	担当課
教育実習等	資格取得のために必要な教育実習及びそれに準ずると認められるもの（介護等体験・ソーシャルワーク実習等）	教育支援課
ゼミナール関係	ゼミナール等正課の科目で行う調査実習・フィールドワークや、本学を代表して参加するインターゼミナール・ブロックゼミナール大会等	教育支援課
裁判員活動等	裁判員候補者や検察審査員等、国や行政機関からの依頼に基づき活動を行うもの	教育支援課
課外活動関係	本学を代表して参加する全道大会（それに準ずるものを含む）以上のもの	学生支援課
災害ボランティア	被災地でのボランティア活動に参加する場合、「災害ボランティア活動参加届（情報ポータルの窓口データキャビネットに収納）」を学生部長に提出すること	学生支援課
日本語教育・文化体験プログラム	7月、1月に約1ヶ月のプログラムを実施。平日の空港への出迎え、週末のフィールドトリップの参加を想定	国際交流課
海外協定校との学生交流プログラム	海外協定校との学生交流プログラム（受入）。企画・イベント実施を学生が主体となり実施する。	国際交流課

2) 公認欠席の手続き

情報ポータルにある「窓口データキャビネット」から届出様式をダウンロードし、必要事項を記入・押印の上、担当課で証明印を受けて直接授業担当者に提出してください。

なお、この場合の所定手続きは、必ず事前（出発の1週間前まで）に行ってください。

(3) 感染症による授業欠席

学校保健安全法に定められた学校感染症に罹患した場合は感染拡大防止の観点から罹患した学生に必要な期間、授業を欠席することを求めます。授業に出席できなかった場合は「公認欠席」とはなりません、手続きを行うことにより、授業担当教員に対して当該学生の欠席が不利にならないような配慮を要請します。学校感染症に罹患した場合は、保健センター保健室ホームページを確認の上、速やかに報告し、出席が可能になり次第、ホームページより様式をダウンロードし教育支援課にて手続きをしてください。

4. 学生証読み取り装置を利用した出席調査

「学生証読み取り装置」が設置してある教室で行う全ての授業で、出席調査を実施します。「学生証読み取り装置」が設置してある教室に入室の際は、学生証を「学生証読み取り装置」にかざして学籍番号等のデータを読み取らせてください。読み取らせた時刻により、「出席」・「遅刻」・「欠席」が決定します。読み取り開始時刻については、読み取り装置付近に貼付してある掲示物で確認してください。

【注意事項】

- 1) 読み取らせた結果は、情報ポータルで確認することができます。
- 2) 情報ポータルには、出席調査を実施していない科目（「学生証読み取り装置」のない教室の授業科目等）が表示されることもあります。その場合は、すべて「欠席」の表示となります。
- 3) 「学生証読み取り装置」のない教室等での授業では、担当教員の判断により実施するかどうかが決まります。担当教員の指示に従ってください。
- 4) 「学生証読み取り装置」は、江別キャンパス1・2号館、実習室等を除くすべての教室にあります。
- 5) 学生のみなさんが授業に出席するのは当然であり、出席することで成績に加点されることはありません。よって、学生証の不携帯や読み取り不良により欠席等となった場合であっても、データの修正は行いません。ただし、科目によっては、欠席により減点となったり、定期試験の受験資格を失うことはあります。この場合は、担当教員に申し出てください。

カードリーダーは、授業の

8分前

から受付可能です

※1・3・5講時は授業の20分前から読み取りが可能になります。

読み取ったデータ(学籍番号、読み取り日時、教室名)は次の目的で使用します。

- 授業科目を担当する先生が、皆さんの出席状況を参照します。
- 大学が履修相談、修学指導、及び学生生活全般に関する指導・助言を行う際に皆さんの出席状況を参照します。
- 災害発生時の安否確認等、緊急時の情報収集の際に参照します。
- 統計的な処理を通じて大学の諸活動の現状分析に利用します。

教育支援課

! 学生証が正しく読み取られたか確認しましょう。

学生証が読み取られた場合は学籍番号が表示されます。

受付時間外の時にタッチしても、出席にはなりません。

教育支援課

5. 提出物の提出時間の厳守

履修登録、卒業論文、その他学籍関係等の届出については、指定された期限（時刻）を厳守してください。これに遅れた場合は受理しません。

- 1) レポート、報告書等についても、指定期限（時刻）と提出場所を厳守してください。紙にプリントアウトしたレポートについては、本学所定の表紙がありますので、その表紙をつけて提出しましょう。表紙は、情報ポータルからダウンロードできます。また、教育支援課にも置いています。様式等についても授業担当者から指定がある場合はそれに従ってください。
- 2) 定期試験に関する提出物は、担当教員によって提出期限が異なる場合があるので、掲示等をよく確認してください。また、期限（時間）に遅れた場合は、大学としては受理しません。

【レポートの本学所定の表紙】

-----	-----
	学科 年
学籍番号：	<input type="text"/>
氏 名：	<input type="text"/>
講 義 名：	<input type="text"/>
テ ー マ：	<input type="text"/>
時 間 割：	<input type="text"/> 曜日 <input type="text"/> 講師 ・ <input type="text"/> 曜日 <input type="text"/> 講師
ページ数：	<input type="text"/> ページ（表紙は含めない）
授業担当者：	<input type="text"/> 先生
	<small>（レポート提出用表紙）</small>

6. 学生への連絡方法

大学からみなさんへの連絡や通知は、特別な場合を除きすべて情報ポータルまたは掲示で行います。情報ポータルや掲示を見落としのために後で支障をきたさないよう、日頃から情報ポータルを確認するとともに、大学に来たらまず掲示板を見る習慣をつけてください。また、個人への重要な連絡や通知等は大学が付与するメールアドレスに対しても行うことがあります。大学のメールアドレスも定期的に確認してください。

7. 試験

- 1) 試験は、各授業科目の授業計画（シラバス）に基づき実施します。
- 2) 試験は、前期・後期のほか、各授業担当者において随時行う場合があります。
- 3) 通年授業科目については、前期試験と後期試験の年2回行います。前期試験を欠席した場合は、後期試験の受験を認めません。また、前期試験を受験していても後期試験を欠席した場合は当該科目の評価を行いません。
- 4) 半期の科目については、定期試験（前期または後期）のほかに授業時間内に試験を行う場合があります。この試験に欠席した場合は定期試験の受験を認めません。
- 5) 定期試験の時間割は、定期試験開始日の1週間前に発表します。試験開始時間、教室は通常授業とは異なるので注意してください。

- 6) 障がいのある学生の受験にあたっては、本人の申し出により特別措置を認める場合があります。詳細は教育支援課窓口で確認してください。

8. 定期試験受験上の注意事項

受験上の注意事項はあらかじめよく読んでおいてください。

- 1) 受験の際には必ず5分前に所定の席に着き、学生証を机上通路側に置いてください。
- 2) **定期試験は、学生証がなければ受験できません。**学生証を忘れてきた場合は、教育支援課で「受験許可証（発行日に限り有効・手数料1,000円）」の発行を受けてから受験してください。
- 3) 座席表がある定期試験では、座席表に自分の学籍番号がない場合は、受験前に教育支援課に問い合わせ確認してください。
- 4) 許可のない披見物〔ノート・教科書・参考書・複写物（コピー・PC出力資料を含む）等〕は、定期試験開始前にカバン等に入れ椅子の下に置いてください。これに従わない場合は、不正行為として摘発する場合があります。
- 5) 試験会場内における携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の情報・通信機器の使用は、一切禁止します（時計の代わりに使用することも禁止します）。これらの機器を持ち込む場合、試験開始前に電源を切り、カバン等に入れ椅子の下に置いてください。これに従わなかった場合は、不正行為として摘発する場合があります。
- 6) 筆入れ及び下敷きの使用は認めません。
- 7) ノート、教科書持ち込み許可の場合でも、試験中の貸し借りをすべて禁止します。ノート等の持ち込み許可の場合でも、複写物（コピー・PC出力資料を含む）の持ち込みを禁止する場合があります。
- 8) 試験開始20分経過後の入室を認めません。試験開始30分経過後の退室を認めます。
- 9) 答案を書き終えたら、答案用紙を所定の場所に提出し、静かに退室してください。
- 10) 答案用紙は、全問無解答であっても、氏名及び学籍番号を明記し、必ず提出してください。氏名及び学籍番号のない答案は無効となります。
- 11) 下記に該当する場合は受験を認めません。
 - ①履修登録をしていない科目
 - ②通年科目の後期試験において、前期試験を欠席した科目

9. 不正行為に関する取り扱い

試験において不正行為が行われた場合は、当該試験期間の全受験科目（平常点評価科目・レポート評価科目は除く）の単位を認めません。また、教授会は各学部履修細則（不正行為の処置）に基づき、当該学生に対して適当な処置を行います。

不正行為とは次の行為等をいいます。

- 1) カンニングペーパー等を使用する行為
- 2) 持ち込みが許可されていないノート、辞書、六法等を使用する行為
- 3) あらかじめ机上・文具・身体に受験科目に関する内容を記入し、使用する行為
- 4) 他人の答案を写す、または他人に答案を見せる、答案用紙を交換する行為
- 5) 本人に代わり他人に受験させる、または他人の代わりに受験する行為
- 6) その他不正な手段を用いて受験する行為

資料等の持ち込みの可否、許可される場合の持ち込み資料の内容は、担当教員が授業時間中に告知するので、指示に従うこと。たとえ本人の不注意に起因する行為であっても、摘発され不正行為として認定された場合は上述の処分対象となります。**試験会場では、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の情報・通信機器の使用を一切禁止します（時計の代わりに使用することも禁止する）。これに従わない場合、不正行為として摘発する場合があります。**

※不正行為に対する取り扱いについては、2025年度より変更予定です。

詳細については、2025年度前期定期試験の前に情報ポータルの個人伝言でお知らせします。

10. 追試験

追試験は、疾病その他やむを得ない事由によって所定の試験を受けられない場合に、「追試験願」を提出して認められた者が受験することができます。

- 1) 願い出には、公的機関及びこれに準ずると認められる証明書の添付が必要です。

事 由	証明書等
忌 引	死亡証明書（葬儀案内ハガキ可）
疾 病 等	通院を証明するための診療費の領収書（氏名・日付が明記されていること）。入院の場合は、医師の診断書。（なお、定期的な歯科診療による通院は認められない）
列車等の遅延	遅延証明書（各駅等で発行。公式HPでの発行は不可） または本人記載の理由書（様式自由：名前、学籍番号、印鑑または自署は必須）
就 職 試 験	採用試験を実施した機関（企業・団体・官公庁等）の証明を受け、キャリア支援課で確認印を受けたもの
課 外 活 動	学生支援課で確認印を受けたもの
そ の 他	その事由を証明するもの

- 2) 願い出は、当該試験科目の実施後、翌日から2日以内（日曜・祝日等休校日を除く窓口時間内）に教育支援課に提出しなければなりません。また、願い出期間を指定する場合があります。この場合、試験開始の約1週間前に発表します。
- 3) 上記1)、2)により受験を許可された者が追試験を受験しない場合の考慮は行いません。

11. 再試験

再試験は、所定の試験を受け最終評価が不合格となった場合に、当該科目の「再試験願」を提出して認められた者が受験することができます。

- 1) 再試験は、教養科目の外国語科目（英語を除く）及び人文学部（こども発達学科を除く）、経済経営学部、法学部の専門科目において、所定の条件を満たした者に対して行います。なお、教養科目の外国語科目の再試験は、2025年度限りとし、2026年度以降は実施しません。（詳細は、「外国語科目の履修方法」、及び各学部の「再試験制度」の項を参照のこと。）
- 2) 再試験の追試験は実施しません。
- 3) 再試験の評価は、所定の基準により低減措置を行います。（最高で60点C評価）
- 4) 再試験を願い出の場合は、指定された期間に、再試験手数料（1科目1,000円）を添えて所定の手続きを行ってください。

12. 成績評価

- 1) 成績の評価は、筆記試験のほか、レポート、実技、平素の学修状況も参考にして授業科目毎に行います。
- 2) 評価は、90点以上を秀（S）、80点以上89点までを優（A）、70点以上79点までを良（B）、60点以上69点までを可（C）、59点以下を不可（D）として表します。
- 3) 成績発表は、学期ごとに情報ポータルにて行います。発表日時は、情報ポータルにて連絡します。

13. 成績確認

- 1) 成績評価について確認したい事項がある場合は、必ず所定の「成績確認願」に確認したい内容を記入して教育支援課に提出してください。
- 2) 「成績確認願」の提出期間はあらかじめ指定のうえ、情報ポータル等で周知します。提出期間以外の提出は認めません。
- 3) 成績評価について確認したい場合は、必ず「成績確認願」を通じて行うものとし、科目担当者に直接申し出てはいけません。
- 4) 成績確認は、単に点数の加点等を願い出る制度ではありません。「成績確認願」を提出する際は、確認を願い出るに至った具体的な理由を記載してください。

14. GPA

GPAは、Grade Point Average (グレード・ポイント・アベレージ) の略で、成績評価制度のことです。GPAは、学生自身がそれぞれの学修到達度を質的に把握することにより、学生自らに自覚を促すための指標です。学生がより良い成績を取るよう動機付け、励ますための制度です。

授業科目ごとに成績を段階評価し、その評価に対して与える点数のことをGPといいます。すなわち、「秀 (S)」を4点、「優 (A)」を3点、「良 (B)」を2点、「可 (C)」を1点としてカウントします。

このGPに各科目の単位数を掛けた数値を、履修登録単位数で割って算出した値をGPAといいます (以下の「(2) GPAの算出方法」を参照)。

GPA制度では、単位を修得できなかった不合格科目 (D・欠席) も成績に加算されます。不合格科目が多いとそれだけGPAが低くなるので、真剣に科目選択を行うことが大切です。

GPAは、従来の修得単位数という「数的」な判断に加えて、「評価的」な観点からの判断の材料になります。GPAは、履修指導のほか、成績優秀者、留学や奨学金受給者などの判定の基礎資料として使われる場合があります。

成績評価の判定基準とGPAの算出方法は以下のとおりです。

(1) 成績評価の判定基準

判定	評価	成績 (素点)	GP	内容
合格	秀 (S)	100点~90点	4	特に優秀な成績
	優 (A)	89点~80点	3	優れた成績
	良 (B)	79点~70点	2	良好な成績
	可 (C)	69点~60点	1	合格と認められる成績
不合格	不可 (D) 欠席	59点以下 —	0	不合格

(2) GPAの算出方法

GPAとは、過年度からの累積に加え半期及び1年間におけるGPの単位当たりの平均値で、本学では次の方法で求めます。

$$\frac{[4 \times \text{秀 (S) 単位数} + 3 \times \text{優 (A) 単位数} + 2 \times \text{良 (B) 単位数} + 1 \times \text{可 (C) 単位数}]}{\text{履修登録単位数}}$$

(注1) 卒業要件に係わらない科目は、GPAの計算の対象外となります。

(注2) 他大学や本学で修得した単位で本学が「認定」とした科目は、GPAの計算の対象外となります。また、学外の助成機関等GPA算出の方法が指定されているものは、それによって計算します。

(注3) GPAの算出は、過年度からの累積に加え、前期又は年度毎に完結して計算します。したがって、各自の年度毎の頑張り具合を知ることができます。

<参考>2024年度在学生のGPAの分布（2024年度末時点の通算GPA）



○全体（学生数=2,857 平均=2.39 標準偏差=0.85 最大=4.00 最小=0.00）

15. パソコンの持参について

大学ではレポートの作成や履修科目の担当教員からの指示などでパソコンを利用することが多くあります。大学のパソコン設備には限りがありますので、持参可能なノート型パソコンを持つ学生については、自分のパソコンを持参するようにしてください。

IV. 教養科目（2025年度入学生に適用）

札幌学院大学の「学士力」をすべての学生が身につけることができるように、教養科目と学部専門科目が用意されています。教養科目は、**基礎科目群**、**人文・社会・健康・自然科目群**、**キャリア・総合科目群**、**地域連携科目群**、**グローバル科目群**から成っており、次の力を身につけることを目指しています。

1 現代社会を生きるための基礎力

2 現代社会を豊かに生きるための教養

3 生涯にわたって自律的に学び続ける力

4 グローバルと地域の視点から社会に貢献できる力

1. 教養科目の編成

下表が教養科目の全体です。基礎科目群、人文・社会・健康・自然科目群、キャリア・総合科目群、地域連携科目群、グローバル科目群から編成されています。

なお、教養科目の編成は、学部学科によって異なるので、詳細は各学部学科の頁を参照してください。

1. 基礎科目群

1年次～	2年次～
英語ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB 初級中国語A・B・C・D 初級韓国語A・B・C・D 日本語A・B・C・D※ 応用日本語A・B※	英語ⅢA・ⅣA・ⅢB・ⅣB 応用英語A・B・C・D 応用中国語A・B・C・D 応用韓国語A・B・C・D
アカデミック・ライティングA・B	
コンピュータ基礎A・B	コンピュータ応用A・B・C

(注) ※印の科目は外国人留学生のみを対象とする科目です。

2. 人文・社会・健康・自然科目群

1年次	2年次	3年次	4年次
哲学、倫理学、宗教学、世界の言語と日本語、言語と社会、生命科学、物理学、地学、統計学、言語と数理、地球の科学、日本史、北海道史、日本近代史、世界史A・B、日本文学、外国文学、世界の音楽、ヨーロッパの美術、東洋の美術、アジア事情A・B、スポーツA・B、心理学、日本国憲法、人権論、現代と法、くらしと現代経済、社会学、北海道社会論、教育学、現代ビジネス論、現代の福祉、自然科学概論、環境論、健康科学、スポーツと健康、心理学概説、日本史概説(教)、西洋史概説(教)、東洋史概説(教)、人文地理学概説(教)、自然地理学概説(教)、地誌学概説(教)、法学概説(教)、経済学概説(教)			

3. キャリア・総合科目群

1年次	2年次	3年次	4年次
(キャリア)			
キャリア数学A、心理学検定演習A・B・C・D・E			
	キャリア数学B		
データサイエンス概論、 コンピュータサイエンス概論		ビジネス数学、精神保健課題演習A	
			精神保健課題演習B・C
職業と人生A、企業の経営と仕事、企業の経営と働き方、キャリアデザイン演習A			
	職業と人生B、キャリアデザイン演習B		
		職業と人生C・D	
(総合)			
教養ゼミナールA・B			
	全学共通特別演習A・B		
		全学共通特別演習C・D	

4. 地域連携科目群

1年次	2年次	3年次	4年次
地域貢献A・B・C・D、地域貢献活動A・B・C・D			

5. グローバル科目群

1年次	2年次	3年次	4年次
異文化グループワークA・B、プロジェクトマネジメント入門、 TOEICトレーニングA・B・C・D、海外スタディI・II、 グローバルインターンシップI・II、グローバルボランティアI・II、 日本語を教えるA・B			

2. 基礎科目群

基礎科目群では「現代社会を生きるための基礎力」として、語学、日本語運用能力、コンピュータ操作能力を位置づけ、これらを着実に身につけるために、履修学年を次のとおり設けています。

1年次	2年次
英語ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB 初級中国語A・B・C・D 初級韓国語A・B・C・D 日本語A・B・C・D※ 応用日本語A・B※	英語ⅢA・ⅣA・ⅢB・ⅣB 応用英語A・B・C・D 応用中国語A・B・C・D 応用韓国語A・B・C・D
アカデミック・ライティングA・B	
コンピュータ基礎A・B	コンピュータ応用A・B・C

(注) ※印の科目は外国人留学生のみを対象とする科目です。

3. 人文・社会・健康・自然科目群

人文、社会、健康、自然の各分野に関係する教養科目が人文・社会・健康・自然科目群です。ここでは幅広い教養を身につけるための科目が用意されています。

本学学生に履修を薦めているのは、社会科学系学部及び研究グループの教育内容に触れることができる次の入門的科目です。

科目名	講義概要
現代ビジネス論	経済経営学部教員による講義科目です。 現代のビジネスシーンで起きている事象を題材にします。
現代と法	法学部教員による講義です。裁判員制度を始めとする「法化社会」の諸相から現代と法について分かりやすく講義します。
くらしと現代経済	経済経営学部教員による講義です。くらしの中の経済現象を通じて現代経済を読み解きます。

4. キャリア・総合科目群

キャリア・総合科目群の中には、「生涯にわたって自律的に学び続ける力」と「グローバルと地域の視点から社会に貢献できる力」を身につけるための科目が用意されています。これらの科目の履修を通じて、人と文化と社会を支え合うための素養を高めることが期待されます。

科目名	講義概要
キャリア数学A・B ビジネス数学	生活やビジネスシーンの中の数学を題材にして、数字や数学の社会生活上の役割を学びます。
コンピュータサイエンス概論 データサイエンス概論	社会環境の変化に対応していく中で重要視されている、データサイエンスの役割を学びます。
職業と人生A・B・C・D	人生における仕事の意味を考えます。大学卒業後の社会人としての生き方や社会での自分の役割について考えるための科目です。
キャリアデザイン演習A・B	グループワーク等のアクティブラーニングの手法を用いた講義形式で、「社会人基礎力」で求められるコミュニケーション能力や協調性、チームワークなどを醸成する目的で開講する科目です。
企業の経営と仕事	地域の経営者から企業経営の実際と課題について講義していただきます。企業とは何か、仕事とは何かということを実際に即して学びます。
企業の経営と働き方	地域の経営者から企業経営の実際と課題について講義していただきます。障がい者、外国人、LGBTQ+など多様なニーズのある社員への合理的配慮も含めて、企業経営とは何かということを実際に即して学びます。
教養ゼミナールA・B	担当教員の専門についての入門的なゼミです。学部の基礎ゼミナール（大学での学び方や学科の入門セミナー）と異なり、全学学生向けのゼミナールです。内容はシラバスで確認してください。
全学共通特別演習A・B・C・D	教養ゼミナールの上級ゼミナールに位置づけられています。学部を超えて、多様なテーマについて学べる科目です。内容はシラバスで確認してください。

5. 地域連携科目群

地域連携科目群は、「グローバルと地域の視点から社会に貢献できる力」を獲得することを目的に、自ら選択した地域でのフィールドワーク（含ボランティア活動）を通じて学生が主体的に地域での学びを実地で体験する科目です。

科目名	講義概要
地域貢献A・B・C・D	地域創生、グローバル化が進む現代における地域貢献の意義と役割について学びます。
地域貢献活動A・B・C・D	実践活動を通じて地域貢献を学ぶ科目です。必要な実践活動時間数を満たし、実践活動後のレポート、ならびに活動報告によって評価が行われます。

6. グローバル科目群

グローバル科目群は、多くの社会問題が地球規模で生じる現代社会における基礎的素養である「生涯にわたって自律的に学び続ける力」と「グローバルと地域の視点から社会に貢献できる力」を獲得することを目的としています。

科目名	科目の概要
異文化グループワークA・B	留学生とのグループワークを通じて共通の課題に取り組み、異文化理解について体験的に学びます。アクティブラーニング形式なので積極的に参加する姿勢が求められます。
プロジェクトマネジメント入門	「海外スタディ」「グローバルインターンシップ」「グローバルボランティア」といった、主として海外で実習を行う科目においてチームとして取り組むためのマネジメントの手法を学びます。
TOEICトレーニングA・B	TOEICを利用して実践的な英語能力の向上を目指します。初心者向けで100点アップを目標にします。
TOEICトレーニングC・D	TOEICを利用して実践的な英語能力の向上を目指します。中級者以上向けで100点アップを目標にします。
海外スタディ I	特定のテーマに関する海外実習（1-2週間）に参加してレポートをまとめ、プレゼンテーションを行います。事前指導及び事後指導が含まれます。事前指導を踏まえて海外実習のための十分な準備を行うことが海外スタディ履修の条件です。
海外スタディ II	海外スタディ I を単位修得済みの学生が対象です。海外実習に参加してレポートをまとめ、プレゼンテーションを行うことに加えて過去の経験をもとにチームにおけるリーダーの役割が期待されます。
グローバルインターンシップ I	英語環境（国内外）にて長期（3週間以上）の英語研修とインターンシップに取り組みます。事前指導及び事後指導が含まれます。事前指導を踏まえて十分な準備を行うことが履修の条件です。
グローバルインターンシップ II	グローバルインターンシップ I を単位修得済みの学生が対象です。インターンシップに参加してレポートをまとめ、プレゼンテーションを行うことに加えて過去の経験をもとにチームにおけるリーダーの役割が期待されます。
グローバルボランティア I・II	海外協定校（主としてアジア）の協力の下、小学校での日本文化紹介ボランティアなどに取り組みます。事前指導及び事後指導が含まれます。事前指導を踏まえて十分な準備を行うことが履修の条件です。
日本語を教える A・B	日本語の非母語話者に日本語を教えるための知識と技能を学びます。また、グローバル化が進む日本社会において、外国人との共生をめぐる諸課題についても考えます。

7. 教養科目の履修方法

○教養科目の履修方法

- (1) 教養科目は、「2025年度教養科目開講一覧表」のとおりですが、学部学科により受講を制限している科目（一覧表の学科指定欄参照）があるので、それぞれの指定に基づき履修してください。
- (2) 基礎科目群の外国語は、指定のクラスで受講してください。詳細は次の「外国語科目の履修方法」を参照してください。第二外国語の履修を希望する学生は、所定の日時までには教育支援課への申し込みが必要です。
- (3) 基礎科目群の「アカデミック・ライティングA・B」は、1年次の履修必修科目となって

いるので、指定のクラスで受講してください。なお、経済経営学部経済学科、人文学部こども発達学科は選択科目となっています。

- (4) 基礎科目群の「コンピュータ基礎A・B」は、1年次の履修必修科目となっているので、指定のクラスで受講してください。なお、経済経営学部経済学科、人文学部こども発達学科は選択科目となっています。
- (5) キャリア・総合科目群の「職業と人生A」は、指定のクラスで受講してください。経済経営学部経済学科、法学部法律学科は1年次履修必修科目となっています。(法学部法律学科は専門科目となっています。)

○グローバル科目群の履修方法

- (1) 科目履修のための詳しいガイダンスを実施します。グローバル科目群の科目履修を希望する学生は必ずこのガイダンスに参加してください。
- (2) 「海外スタディ」「グローバルインターンシップ」「グローバルボランティア」を履修して海外に渡航する前に「異文化グループワーク」「プロジェクトマネジメント」を履修することを推奨します。「異文化グループワーク」では留学生とのグループワークを通じて異文化に対する寛容さや異なる価値観を尊重する姿勢を学びます。「プロジェクトマネジメント入門」では海外におけるチームワークやリスク管理の手法を学びます。
- (3) 事前指導及び事後指導が含まれる科目については、必ずこれに参加することが単位修得の条件になります。無断欠席の場合、及び事前指導を受けても十分な準備ができていない学生については海外学習に参加を認めない場合があります。

○外国語科目の履修方法

(1) 科目の構成及び単位認定

外国語科目は、「英語」・「中国語」・「韓国語」の3種類の科目で構成されています。各科目は、前期・後期に週2科目ずつ開講され、いずれの科目も1単位です。

1年次		2年次	
前期	後期	前期	後期
英語ⅠA、ⅠB	英語ⅡA、ⅡB	英語ⅢA、ⅢB	英語ⅣA、ⅣB
初級中国語A、C	初級中国語B、D	応用中国語A、C	応用中国語B、D
初級韓国語A、C	初級韓国語B、D	応用韓国語A、C	応用韓国語B、D

(2) クラス指定

外国語の履修にあたっては、事前に履修クラスを指定します。履修クラス及び授業担当者は、各年度の始めに情報ポータル（掲示を使用する場合あり）で発表します。

(3) 出席制度

外国語科目は、授業担当者が教室において毎回出席を取ります。

実施された全授業回数を通して出席回数が3分の2に満たない場合は、前期・後期末に実施する定期試験の受験を認めません。なお、遅刻等の取り扱いについては、授業担当者の指示を受けてください。

(4) 定期試験

定期試験は前期・後期末に実施します。履修クラスによっては、レポート、小テスト等による平常点、その他の方法で定期試験に代える場合があります。

(5) 評価

原則として前期・後期末に実施する試験により評価します。また、通常授業における発表・授業態度等で評価する場合があります。

(6) 再試験 (2025年度限りの措置、2026年度より廃止)

英語を除く外国語科目の評価が不合格 (D) の場合は、その科目の再試験を受験することができます (再試験を実施しない外国語科目もあるので注意してください)。ただし、欠席者は対象となりません。再試験で合格となった場合の評価は、全てCとなります (低減措置)。

(7) 英語プレイズメント・テスト I

新入生は、入学前に実施される英語プレイズメント・テスト I の結果を基に、英語 I A・II A、英語 I B・II B のクラス編成を行っていますので、指定のクラスにて授業を受けてください。

(8) 英語プレイズメント・テスト II

1 年生で英語 II A (こども発達学科は II B) を履修している学生、ならびに 1 年生で当該科目の単位を認定されている学生は、後期 (実施日は情報ポータルにて連絡します) に実施される英語プレイズメント・テスト II を受験しなければなりません。1 年間の英語の到達度を確認、および結果を基に 2 年次英語 III A・IV A、英語 III B・IV B の英語のクラス編成を行います。

8. 経済経営学部における教養科目の履修方法

経済経営学部経済学科及び経営学科における教養科目の履修にあたっては、次のことに留意してください。

経済経営学部経済学科と経営学科における教養科目は表のとおりです。

表以外の教養科目を履修し、単位を修得した場合は、その他科目として位置づけられますので、**経済経営学部経済学科、経営学科の学生は卒業のための要件が設定されている表を優先して履修計画をたててください。**

表以外の教養科目を履修する場合は、「7. 教養科目の履修方法（全学部共通）」を参照してください。その場合、学部学科指定として受講を制限している科目があるので注意してください。

9. 経済経営学部における教養科目の編成（2025年度以降入学生に適用）

[経済学科]

経済学科の学生は、この表を優先して教養科目の履修計画を立ててください。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎科目群	英語ⅠA・ⅡA 英語ⅠB・ⅡB 日本語A・B・C・D※ 応用日本語A・B※	英語ⅢA・ⅣA 英語ⅢB・ⅣB		
	アカデミック・ライティングA・B、コンピュータ基礎A・B			
人文・社会・健康・自然科目群	哲学、倫理学、宗教学、世界の言語と日本語、言語と社会、コンピュータサイエンス概論、データサイエンス概論、言語と数理、物理学、環境論、日本史、北海道史、日本近代史、アジア事情A・B、スポーツA・B、心理学、日本国憲法、くらしと現代経済、社会学、北海道社会論、現代ビジネス論、健康科学、スポーツと健康、日本史概説（教）、西洋史概説（教）、東洋史概説（教）、人文地理学概説（教）、自然地理学概説（教）、地誌学概説（教）、法学概説（教）、経済学概説（教）			
キャリア科目群	キャリア数学A 職業と人生A 企業の経営と仕事	キャリア数学B 職業と人生B エアライン・サービス論	ビジネス数学 職業と人生C 職業と人生D 社会人スキル	
地域連携科目群	地域貢献A・B・C・D			
グローバル科目群	異文化グループワークA・B、プロジェクトマネジメント入門、海外スタディⅠ・Ⅱ、グローバルインターンシップⅠ・Ⅱ			

（注）※印の科目は外国人留学生のみを対象とする科目である。

この表にある科目以外の教養科目を修得した場合は、その他科目の単位として認定されるので注意してください。

- 科目によっては履修可能な学部学科を指定している場合があります（「教養科目開講一覧表」の学科指定欄を参照してください）。

[経営学科]

経営学科の学生は、この表を優先して教養科目の履修計画を立ててください。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎科目群	英語 I A・II A 英語 I B・II B 日本語 A・B・C・D※ 応用日本語 A・B※			
	アカデミック・ライティング A・B、コンピュータ基礎 A・B			
人文・社会・健康・自然科目群	哲学、宗教学、世界の言語と日本語、言語と社会、物理学、日本史、北海道史、日本近代史、アジア事情 A・B、心理学、言語と数理、日本国憲法、くらしと現代経済、社会学、北海道社会論、環境論、健康科学、スポーツと健康、スポーツ A・B、日本史概説(教)、西洋史概説(教)、東洋史概説(教)、人文地理学概説(教)、自然地理学概説(教)、地誌学概説(教)、法学概説(教)、経済学概説(教)			
キャリア科目群	職業と人生 A キャリア数学 A コンピュータサイエンス概論 データサイエンス概論 企業の経営と仕事 キャリアデザイン演習 A	職業と人生 B キャリア数学 B キャリアデザイン演習 B	職業と人生 C・D ビジネス数学	
地域連携科目群	地域貢献 A・B・C・D、地域貢献活動 A・B・C・D			
グローバル科目群	異文化グループワーク A・B、プロジェクトマネジメント入門、海外スタディ I・II、グローバルインターンシップ I・II			

(注) ※印の科目は外国人留学生のみを対象とする科目である。

この表にある科目以外の教養科目を修得した場合は、その他科目の単位として認定されるので注意してください。

- 科目によっては履修可能な学部学科を指定している場合があります（「教養科目開講一覧表」の学科指定欄を参照してください）。

10. 心理学部における教養科目の履修方法

心理学部における教養科目の履修にあたっては、次のことに留意してください。

心理学部における教養科目は表のとおりです。

表以外の教養科目を履修し、単位を修得した場合は、その他科目として位置づけられますので、**心理学部の学生は卒業のための要件が設定されている表を優先して履修計画を立ててください。**

表以外の教養科目を履修する場合は、「7. 教養科目の履修方法（全学部共通）」を参照してください。その場合、学部学科指定として受講を制限している科目があるので注意してください。

11. 心理学部における教養科目の編成（2025年度以降入学生に適用）

心理学部の学生は、この表を優先して教養科目の履修計画を立ててください。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎科目群	英語ⅠA・ⅡA 英語ⅠB・ⅡB	英語ⅢA・ⅣA 英語ⅢB・ⅣB		
	アカデミック・ライティングA・B、コンピュータ基礎A・B			
人文・社会・健康・自然科目群	哲学、宗教学、世界の言語と日本語、言語と社会、物理学、地学、言語と数理、日本史、北海道史、日本近代史、アジア事情A・B、日本国憲法、くらしと現代経済、社会学、北海道社会論、現代ビジネス論、環境論、健康科学、スポーツと健康			
キャリア科目群	職業と人生A キャリア数学A 企業の経営と仕事 企業の経営と働き方 キャリアデザイン 演習A 心理学検定演習A・ B・C・D・E	職業と人生B キャリア数学B キャリアデザイン 演習B	職業と人生C・D ビジネス数学 精神保健課題演習A	精神保健課題演習 B・C

この表にある科目以外の教養科目を修得した場合は、その他科目の単位として認定されるので注意してください。

- 科目によっては履修可能な学部学科を指定している場合があります（「教養科目開講一覧表」の学科指定欄を参照してください）。

V. 2025年度教養科目・全学共通科目開講一覧表

1. 教養科目開講一覧表

2025年度教養科目開講一覧表 《2025年度入学生に適用》

※注1 [経] 経済学科、[経営] 経営学科、[臨] 臨床心理学科、[法] 法律学科、[人] 人間科学科、[英] 英語英米文学科、[こ] こども発達学科

※注2 学科指定欄に記載のある科目の履修が可能 (○、◇、□)

※注3 ○印=教養科目認定 ◇印=[経営] [臨] [法] 専門科目認定、[こ] 自由選択科目認定 □印=[経] [経営] [臨] [法] その他の教養科目の単位として認定

分類	科目名称	開講期間	単位	配当年次	開講曜日・講時	担当教員	学 科 指 定							備考
							経	経営	臨	法	人	英	こ	
基礎科目群	英語ⅠA (1) ~ (30)	前期	1	1~4	月~金	西 真木子ほか	○	○	○	○	○	○	○	必修学科は事前登録されているクラスを確認の上、履修すること。
	英語ⅡA (1) ~ (30)	後期	1	1~4	月~金	西 真木子ほか	○	○	○	○	○	○	○	
	英語ⅠB (1) ~ (40)	前期	1	1~4	月~金	ミュア B.J.ほか	○	○	○	○	○	○	○	
	英語ⅡB (1) ~ (40)	後期	1	1~4	月~金	ミュア B.J.ほか	○	○	○	○	○	○	○	
	英語ⅢA (1) ~ (11)	前期	1	2~4	月~金	ホリー 綾乃ほか	○	□	○	○	○	○	○	
	英語ⅣA (1) ~ (11)	後期	1	2~4	月~金	ホリー 綾乃ほか	○	□	○	○	○	○	○	
	英語ⅢB (1) ~ (14)	前期	1	2~4	月~水	フォルトナト H.ほか	○	□	○	○	○	○	○	
	英語ⅣB (1) ~ (14)	後期	1	2~4	月~水	フォルトナト H.ほか	○	□	○	○	○	○	○	
	応用英語A	前期	1	2~4	木4	中村 早百合	□	□	□	○	○	○	◇	
	応用英語B	後期	1	2~4	木4	中村 早百合	□	□	□	○	○	○	◇	
	応用英語C	前期	1	2~4	水2	高橋 ヘレン	□	□	□	○	○	○	◇	
	応用英語D	後期	1	2~4	水2	高橋 ヘレン	□	□	□	○	○	○	◇	
	初級中国語A	前期	1	1~4	月3	大沼 尚子	□	□	□	○	○	○	◇	
	初級中国語B	後期	1	1~4	月3	大沼 尚子	□	□	□	○	○	○	◇	
	初級中国語C	前期	1	1~4	木4	張 江林	□	□	□	○	○	○	◇	
	初級中国語D	後期	1	1~4	木4	張 江林	□	□	□	○	○	○	◇	
	応用中国語A	前期	1	2~4	月4	大沼 尚子	□	□	□	○	○	○	◇	
	応用中国語B	後期	1	2~4	月4	大沼 尚子	□	□	□	○	○	○	◇	
	応用中国語C	前期	1	2~4	木3	李 樹華	□	□	□	○	○	○	◇	
	応用中国語D	後期	1	2~4	木3	李 樹華	□	□	□	○	○	○	◇	
	初級韓国語A	前期	1	1~4	月3	バク ジヨン	□	□	□	○	○	○	◇	
	初級韓国語B	後期	1	1~4	月3	バク ジヨン	□	□	□	○	○	○	◇	
	初級韓国語C	前期	1	1~4	木4	朴 武欽	□	□	□	○	○	○	◇	
	初級韓国語D	後期	1	1~4	木4	朴 武欽	□	□	□	○	○	○	◇	
	応用韓国語A	前期	1	2~4	月4	金 美花	□	□	□	○	○	○	◇	
	応用韓国語B	後期	1	2~4	月4	金 美花	□	□	□	○	○	○	◇	
	応用韓国語C	前期	1	2~4	木3	李 英愛	□	□	□	○	○	○	◇	
	応用韓国語D	後期	1	2~4	木3	李 英愛	□	□	□	○	○	○	◇	
	日本語A	前期	1	1~4	木3	歌代 礼子	○	○	□	○	○	○	◇	外国人留学生のみ履修可。
	日本語B	後期	1	1~4	木3	歌代 礼子	○	○	□	○	○	○	◇	
	日本語C (1)	前期	1	1~4	火2	佐藤 章	○	○	□	○	○	○	◇	
	日本語C (2)	前期	1	1~4	火1	歌代 礼子	○	○	□	○	○	○	◇	
	日本語D (1)	後期	1	1~4	火2	佐藤 章	○	○	□	○	○	○	◇	
	日本語D (2)	後期	1	1~4	火1	歌代 礼子	○	○	□	○	○	○	◇	
	応用日本語A	前期	1	1~4	水2	歌代 礼子	○	○	□	○	○	○	◇	
	応用日本語B	後期	1	1~4	水2	歌代 礼子	○	○	□	○	○	○	◇	
	アカデミック・ライティングA (1)	前期	2	1~4	月1	白石 英才							○	クラス指定を行う。情報ポータル画面で登録されたクラスを確認すること。 [経営] [法] [人] [英] [臨] の新入生は事前登録されているクラスを確認の上、必ず履修すること。
	アカデミック・ライティングA (2)	前期	2	1~4	月1	大川 良輔			○					
	アカデミック・ライティングA (3)	前期	2	1~4	月2	大川 良輔			○					
	アカデミック・ライティングA (4)	前期	2	1~4	火1	山藤 顕				○				
	アカデミック・ライティングA (5)	前期	2	1~4	火1	高木 維					○			
	アカデミック・ライティングA (6)	前期	2	1~4	火2	山藤 顕						○		
	アカデミック・ライティングA (7)	前期	2	1~4	火2	高木 維						○		
アカデミック・ライティングA (8)	前期	2	1~4	水1	佐藤 亮太郎							○		
アカデミック・ライティングA (9)	前期	2	1~4	木1	佐藤 亮太郎	○								
アカデミック・ライティングA (10)	前期	2	1~4	木2	岸本 宣久	○								
アカデミック・ライティングA (11)	前期	2	1~4	金1	岸本 宣久		○							
アカデミック・ライティングA (12)	前期	2	1~4	金2	岸本 宣久		○							
アカデミック・ライティングA (13)	前期	2	1~4	金2	梅木 佳代		○							
アカデミック・ライティングB (1)	後期	2	1~4	月1	白石 英才							○	※再履修希望者は、期日までに教育支援課窓口で申込が必要。(クラス指定有り)	
アカデミック・ライティングB (2)	後期	2	1~4	月1	大川 良輔			○						
アカデミック・ライティングB (3)	後期	2	1~4	月2	大川 良輔			○						
アカデミック・ライティングB (4)	後期	2	1~4	火1	山藤 顕				○					
アカデミック・ライティングB (5)	後期	2	1~4	火1	高木 維					○				
アカデミック・ライティングB (6)	後期	2	1~4	火2	山藤 顕						○			
アカデミック・ライティングB (7)	後期	2	1~4	火2	高木 維						○			
アカデミック・ライティングB (8)	後期	2	1~4	水1	佐藤 亮太郎							○		
アカデミック・ライティングB (9)	後期	2	1~4	木1	佐藤 亮太郎	○								
アカデミック・ライティングB (10)	後期	2	1~4	木2	岸本 宣久	○								
アカデミック・ライティングB (11)	後期	2	1~4	金1	岸本 宣久		○							
アカデミック・ライティングB (12)	後期	2	1~4	金2	岸本 宣久		○							
アカデミック・ライティングB (13)	後期	2	1~4	金2	梅木 佳代		○							

2025年度教養科目開講一覧表 《2025年度入学生に適用》

※注1 [経] 経済学科、[経営] 経営学科、[臨] 臨床心理学科、[法] 法律学科、[人] 人間科学科、[英] 英語英米文学科、[こ] こども発達学科

※注2 学科指定欄に記載のある科目の履修が可能 (○、◇、□)

※注3 ○印=教養科目認定 ◇印=[経営] [臨] [法] 専門科目認定、[こ] 自由選択科目認定 □印=[経] [経営] [臨] [法] その他の教養科目の単位として認定

分類	科目名称	開講期間	単位	配当年次	開講曜日・講時	担当教員	学 科 指 定							備考
							経	経営	臨	法	人	英	こ	
基礎科目群	コンピュータ基礎A (1)	前期	2	1~4	火2	中村 永友							○	クラス指定を行う。情報ポータル画面で登録されたクラスを確認すること。 [経営] [法] [人] [英] [臨] の新入生は事前登録されているクラスを確認の上、必ず履修すること。 ※再履修希望者は、期日までに教育支援課窓口で申込が必要。 経済学科 (11) (12)、こども発達学科 (1) は自由選択科目。
	コンピュータ基礎A (2)	前期	2	1~4	水1	中村 永友				○				
	コンピュータ基礎A (3)	前期	2	1~4	水2	中村 永友				○				
	コンピュータ基礎A (4)	前期	2	1~4	木1	渡邊 慎哉					○			
	コンピュータ基礎A (5)	前期	2	1~4	木2	渡邊 慎哉					○	○		
	コンピュータ基礎A (6)	前期	2	1~4	月1	石川 千温			○					
	コンピュータ基礎A (7)	前期	2	1~4	月2	石川 千温			○					
	コンピュータ基礎A (8)	前期	2	1~4	火3	石川 千温		○						
	コンピュータ基礎A (9)	前期	2	1~4	火4	石川 千温		○						
	コンピュータ基礎A (10)	前期	2	1~4	火5	中村 永友		○						
	コンピュータ基礎A (11)	前期	2	1~4	水3	大沼 春子	○							
	コンピュータ基礎A (12)	前期	2	1~4	水4	大沼 春子	○							
	コンピュータ基礎B (1)	後期	2	1~4	火2	中村 永友							○	
	コンピュータ基礎B (2)	後期	2	1~4	水1	中村 永友				○				
	コンピュータ基礎B (3)	後期	2	1~4	水2	中村 永友				○				
	コンピュータ基礎B (4)	後期	2	1~4	木1	渡邊 慎哉					○			
	コンピュータ基礎B (5)	後期	2	1~4	木2	渡邊 慎哉					○	○		
	コンピュータ基礎B (6)	後期	2	1~4	月1	石川 千温			○					
	コンピュータ基礎B (7)	後期	2	1~4	月2	石川 千温			○					
	コンピュータ基礎B (8)	後期	2	1~4	火3	渡邊 慎哉		○						
	コンピュータ基礎B (9)	後期	2	1~4	火4	渡邊 慎哉		○						
	コンピュータ基礎B (10)	後期	2	1~4	火5	中村 永友		○						
	コンピュータ基礎B (11)	後期	2	1~4	水3	大沼 春子	○							
	コンピュータ基礎B (12)	後期	2	1~4	水4	大沼 春子	○							
コンピュータ応用A	-	2	2~4	-	2025年度休講	□	□	□	○	○	○	◇	コンピュータ基礎A・Bの単位修得者のみ履修可。	
コンピュータ応用B (1)	前期	2	2~4	木2	中村 永友	□	□	□	○	○	○	◇		
コンピュータ応用B (2)	後期	2	2~4	木2	中村 永友	□	□	□	○	○	○	◇		
コンピュータ応用C	前期	2	2~4	水5	中村 永友	□	□	□	○	○	○	◇		
人文・社会・健康・自然科学目群	哲学 (1)	前期	2	1~4	水4	川端 繁之	○	○	○	○	○	○	◇	
	哲学 (2)	後期	2	1~4	木3	川端 繁之	○	○	○	○	○	○	◇	
	哲学 (3)	前期	2	1~4	水4	宮野 晃一郎	○	○	○	○	○	○	◇	
	倫理学	前期	2	1~4	月4	水野 邦彦	○	□	□	○	○	○	◇	
	宗教学 (1)	前期	2	1~4	火2	堀 雅彦	○	○	○	○	○	○	◇	
	宗教学 (2)	後期	2	1~4	火2	堀 雅彦	○	○	○	○	○	○	◇	
	宗教学 (3)	前期	2	1~4	火3	堀 雅彦	○	○	○	○	○	○	◇	
	日本史 (1)	前期	2	1~4	水2	諸 洪一				○	○	○	◇	
	日本史 (2)	後期	2	1~4	水2	諸 洪一	○	○	○					
	日本近代史 (1)	後期	2	1~4	金4	山田 伸一				○	○	○	◇	
	日本近代史 (2)	前期	2	1~4	木2	諸 洪一				○	○	○	◇	
	日本近代史 (3)	後期	2	1~4	木2	諸 洪一	○	○	○					
	日本史概説 (教) (1)	前期	2	1~4	金4	山田 伸一	○	○	□	○	○	○	◇	
	日本史概説 (教) (2)	後期	2	1~4	火2	野口 飛香留	○	○	□	○	○	○	◇	
	北海道史 (1)	前期	2	1~4	火3	井上 将文	○	○	○					
	北海道史 (2)	後期	2	1~4	水3	井上 将文				○	○	○	◇	
	東洋史概説 (教) (1)	前期	2	1~4	火5	鷲尾 浩幸	○	○	□	○	○	○	◇	
	東洋史概説 (教) (2)	前期	2	1~4	水5	鷲尾 浩幸	○	○	□	○	○	○	◇	
	西洋史概説 (教) (1)	前期	2	1~4	月5	三浦 順子	○	○	□	○	○	○	◇	
	西洋史概説 (教) (2)	後期	2	1~4	月3	三浦 順子	○	○	□	○	○	○	◇	
	世界史A	後期	2	1~4	金2	乾 秀明	□	□	□	○	○	○	◇	
	世界史B	後期	2	1~4	火1	佐藤 健太郎	□	□	□	○	○	○	◇	
	地誌学概説 (教) (1)	前期	2	1~4	水2	菊地 達夫	○	○	□	○	○	○	◇	
	地誌学概説 (教) (2)	後期	2	1~4	金5	菊地 達夫	○	○	□	○	○	○	◇	
	人文地理学概説 (教) (1)	前期	2	1~4	水1	菊地 達夫	○	○	□	○	○	○	◇	
	人文地理学概説 (教) (2)	後期	2	1~4	金4	菊地 達夫	○	○	□	○	○	○	◇	
	世界の音楽 (1)	前期	2	1~4	月4	角 美弥子	□	□	□	○	○	○	○	
	世界の音楽 (2)	後期	2	1~4	月4	角 美弥子	□	□	□	○	○	○	○	
	東洋の美術	後期	2	1~4	金3	平 利弘	□	□	□	○	○	○	○	
	ヨーロッパの美術	前期	2	1~4	金3	平 利弘	□	□	□	○	○	○	○	
	世界の言語と日本語 (1)	前期	2	1~4	水3	岸本 宜久	○	○	○	○	○	○	◇	
	世界の言語と日本語 (2)	前期	2	1~4	金4	岸本 宜久	○	○	○	○	○	○	◇	
言語と社会	後期	2	1~4	月3	岸本 宜久	○	○	○	○	○	○	◇		
言語と数理 (1)	前期	2	1~4	木1	小川 昭利	○	○	○						
言語と数理 (2)	後期	2	1~4	木1	小川 昭利				○	○	○	◇		
日本文学	後期	2	1~4	火5	木谷 満	□	□	□	○	○	○	◇		
外国文学	前期	2	1~4	火3	岡崎 清	□	□	□	○	○	○	◇		

2025年度教養科目開講一覧表 《2025年度入学生に適用》

※注1 [経] 経済学科、[経営] 経営学科、[臨] 臨床心理学科、[法] 法律学科、[人] 人間科学科、[英] 英語英米文学科、[こ] こども発達学科

※注2 学科指定欄に記載のある科目の履修が可能 (○、◇、□)

※注3 ○印=教養科目認定 ◇印=[経営] [臨] [法] 専門科目認定、[こ] 自由選択科目認定 □印=[経] [経営] [臨] [法] その他の教養科目の単位として認定

分類	科目名称	開講期間	単位	配当年次	開講曜日・講時	担当教員	学 科 指 定								備考
							経	経営	臨	法	人	英	こ		
人文・社会・健康・自然科目群	現代と法	後期	2	1~4	火4	小澤 隆司	□	□	□	○	○	○	◇		
	日本国憲法 (1)	前期	2	1~4	火1	山田 哲	○	○	○	○	○	○	○		
	日本国憲法 (2)	後期	2	1~4	火1	山田 哲	○	○	○	○	○	○	○		
	人権論	前期	2	1~4	火4	小澤 隆司	□	□	□	○	○	○	◇		
	法学概説 (教)	前期	2	1~4	月6	橋井 雄太	○	○	□	○	○	○	◇	遠隔授業	
	くらしと現代経済	前期	2	1~4	水1	小川 昭利	○	○	○	○	○	○	◇		
	経済学概説 (教)	前期	2	1~4	月7	高橋 寛人	○	○	□	○	○	○	◇	遠隔授業	
	現代ビジネス論 (1)	後期	2	1~4	火3	河西 邦人	○		○	○	○	○	◇		
	現代ビジネス論 (2)	前期	2	1~4	火1	碓井 和弘		◇							
	社会学 (1)	前期	2	1~4	水3	工藤 遥				○	○	○	◇		
	社会学 (2)	後期	2	1~4	水3	工藤 遥				○	○	○	◇		
	社会学 (3)	前期	2	1~4	水3	加藤 倫子	○	○	○						
	北海道社会論	前期	2	1~4	火2	大國 充彦	○	○	○	○	○	○	◇		
	アジア事情A (1)	前期	2	1~4	水4	網谷 義男	○	○	○						
	アジア事情A (2)	後期	2	1~4	水4	網谷 義男				○	○	○	◇		
	アジア事情B (1)	前期	2	1~4	金2	諸 洪一				○	○	○	◇		
	アジア事情B (2)	後期	2	1~4	金2	諸 洪一	○	○	○						
	教育学	後期	2	1~4	金2	白石 淳	□	□	□	○	○	○	○		
	現代の福祉	前期	2	1~4	木4	田中 敦	□	□	□	○	○	○	○		
	心理学 (1)	前期	2	1~4	金2	栗林 克匡	○	○			○			学科指定あり。	
	心理学 (2)	前期	2	1~4	金1	河合 直樹				○		○	○		
	心理学 (3)	後期	2	1~4	水4	友野 貴之	○	○	◇						
	健康科学 (1)	前期	2	1~4	火1	北田 雅子				○	○	○	○		
	健康科学 (2)	後期	2	1~4	火1	北田 雅子	○	○	○						
	心理学概説	後期	2	1~4	木2	大谷 和太			□		○		○		
	スポーツと健康 (1)	前期	2	1~4	水2	北田 雅子				○	○	○	◇		
	スポーツと健康 (2)	後期	2	1~4	水1	北田 雅子	○	○	○						
	スポーツA (1)	前期	1	1~4	水2	濱野 貢	○	○	□	○	○	○			
	スポーツA (2)	前期	1	1~4	水3	濱野 貢	○	○	□	○	○	○			
	スポーツA (3)	前期	1	1~4	木2	濱野 貢	○	○	□	○	○	○		履修登録の上、第1回目の授業に必ず出席すること。	
	スポーツA (4)	前期	1	1~4	金1	濱野 貢	○	○	□	○	○	○		(場所は、すべて第二キャンパス・メインアリーナです。)	
	スポーツA (5)	前期	1	1~4	金2	濱野 貢							○		
	スポーツB (1)	後期	1	1~4	水2	濱野 貢	○	○	□	○	○	○		※こども発達学科は指定のクラスを履修すること。	
	スポーツB (2)	後期	1	1~4	水3	濱野 貢	○	○	□	○	○	○			
	スポーツB (3)	後期	1	1~4	木2	濱野 貢	○	○	□	○	○	○			
	スポーツB (4)	後期	1	1~4	金1	濱野 貢	○	○	□	○	○	○			
	スポーツB (5)	後期	1	1~4	金2	濱野 貢							○		
	統計学	後期	2	1~4	月3	中村 永友	□	□	□	○	○	○	◇		
	物理学	後期	2	1~4	水1	小川 昭利	○	○	○	○	○	○	◇		
	地学 (1)	前期	2	1~4	木1	小出 良幸	□	□	○						
	地学 (2)	後期	2	1~4	木1	小出 良幸				○	○	○	○		
	地球の科学	前期	2	1~4	水5	高田 将寛	□	□	□	○	○	○	○		
	自然地理学概説 (教) (1)	前期	2	1~4	金3	菊地 達夫	○	○	□	○	○	○	◇		
	自然地理学概説 (教) (2)	後期	2	1~4	金3	菊地 達夫	○	○	□	○	○	○	◇		
	生命科学	-	2	1~4	-	2025年度休講	□	□	□	○	○	○	○		
環境論	-	2	1~4	-	2025年度休講	○	○	○	○	○	○	◇			
自然科学概論	前期	2	1~4	金3	横山 光	□	□	□	○	○	○	◇			
キャリア数学A	後期	1	1~4	月5	小池 英勝	○	○	○	○	○	○	◇	遠隔授業		
キャリア数学B (1)	前期	1	2~4	木1	石川 千温				○	○	○	◇			
キャリア数学B (2)	後期	1	2~4	月3	石川 千温	○	○	○							
ビジネス数学 (1)	前期	2	3~4	木2	石川 千温				○	○	○	◇			
ビジネス数学 (2)	後期	2	3~4	月4	石川 千温	○	○	○							
データサイエンス概論 (1)	前期	2	1~4	金6	中村 永友	○	○	□	○	○	○	◇	遠隔授業		
データサイエンス概論 (2)	後期	2	1~4	金6	中村 永友	○	○	□	○	○	○	◇			
コンピュータサイエンス概論 (1)	前期	2	1~4	金5	中村 永友 皆川 雅章 森田 彦 渡邊 慎哉 石川 千温	○	○	□	○	○	○	◇	遠隔授業		
コンピュータサイエンス概論 (2)	後期	2	1~4	金5	中村 永友 皆川 雅章 森田 彦 渡邊 慎哉 石川 千温	○	○	□	○	○	○	◇			

2025年度教養科目開講一覧表 《2025年度入学生に適用》

※注1 [経] 経済学科、[経営] 経営学科、[臨] 臨床心理学科、[法] 法律学科、[人] 人間科学科、[英] 英語英米文学科、[こ] こども発達学科

※注2 学科指定欄に記載のある科目の履修が可能 (○、◇、□)

※注3 ○印=教養科目認定 ◇印=[経営] [臨] [法] 専門科目認定、[こ] 自由選択科目認定 □印=[経] [経営] [臨] [法] その他の教養科目の単位として認定

分類	科目名称	開講期間	単位	配当年次	開講曜日・講時	担当教員	学 科 指 定							備考
							経	経営	臨	法	人	英	こ	
キャリア・総合科目群	キャリアデザイン演習A(1)	後期	2	1~4	水3	松代 弘之				◇	○	○	◇	
	キャリアデザイン演習A(2)	後期	2	1~4	木3	松代 弘之	□	○	○					
	キャリアデザイン演習A(3)	後期	2	1~4	木4	松代 弘之	□	○	○					
	キャリアデザイン演習B(1)	前期	2	2~4	水3	松代 弘之				◇	○	○	◇	
	キャリアデザイン演習B(2)	前期	2	2~4	木3	松代 弘之	□	○	○					
	キャリアデザイン演習B(3)	前期	2	2~4	木4	松代 弘之	□	○	○					
	職業と人生A(1)	後期	2	1~4	月3	別当屋敷 美穂	○							
	職業と人生A(2)	後期	2	1~4	月4	別当屋敷 美穂		○	○					[経] [法] の新入生は指定のクラスを必ず履修すること。(事前登録講義)
	職業と人生A(3)	後期	2	1~4	金3	別当屋敷 美穂				◇				
	職業と人生A(4)	後期	2	1~4	金4	別当屋敷 美穂					○	○	◇	
	職業と人生B(1)	前期	2	2~4	月3	別当屋敷 美穂	○	○	○					
	職業と人生B(2)	前期	2	2~4	月4	別当屋敷 美穂	○	○	○					
	職業と人生B(3)	前期	2	2~4	金3	別当屋敷 美穂				◇	○	○	◇	
	職業と人生B(4)	前期	2	2~4	金4	別当屋敷 美穂				◇	○	○	◇	
	職業と人生C(1)	前期	2	3~4	木3	廣崎 匡	○	○						
	職業と人生C(2)	前期	2	3~4	木3	平野 恵子			○					
	職業と人生C(3)	前期	2	3~4	木3	藤原 佳世				◇	○	○	◇	
	職業と人生D(1)	後期	2	3~4	木3	廣崎 匡	○	○						
	職業と人生D(2)	後期	2	3~4	木3	平野 恵子			○					
	職業と人生D(3)	後期	2	3~4	木3	藤原 佳世				◇	○	○	◇	
	企業の経営と仕事	前期	2	1~4	水5	田中 敦士	○	○	○	○	○	○	◇	
	企業の経営と働き方	後期	2	1~4	火4	田中 敦士	□	□	○	○	○	○	◇	
	心理学検定演習A	-	2	1~4	-	2025年度休講	□	□	○					隔年開講による休講
	心理学検定演習B	-	2	1~4	-	2025年度休講	□	□	○					隔年開講による休講
	心理学検定演習C	-	2	1~4	-	2025年度休講	□	□	○					隔年開講による休講
	心理学検定演習D	前期	2	1~4	火4	森 直久	□	□	○		○	○	◇	
	心理学検定演習E	後期	2	1~4	水5	森 直久	□	□	○		○	○	◇	
	精神保健課題演習A	後期	2	3~4	木1	寺田 香	□	□	○			○	◇	
	精神保健課題演習B	前期前半	2	4	金4・5	大室 英幸	□	□	○			○	◇	
	精神保健課題演習C	後期	2	4	水3	中村 裕子	□	□	○			○	◇	
	教養ゼミナールA(1)	前期	2	1~4	水5	黄 昕	□	□	□	○	○	○	◇	
	教養ゼミナールA(2)	前期	2	1~4	火6	小林 茂	□	□	□	○	○	○	◇	
	教養ゼミナールA(3)	前期	2	1~4	火5	久藏 孝幸 小林 茂	□	□	□	○	○	○	◇	
	教養ゼミナールA(4)	前期	2	1~4	月5	奥田 統己	□	□	□	○	○	○	◇	
	教養ゼミナールA(5)	前期	2	1~4	金5	河合 直樹	□	□	□	○	○	○	◇	
	教養ゼミナールA(6)	前期	2	1~4	月5	井上 大樹 浅川 雅己	□	□	□	○	○	○	◇	各講義それぞれ人数制限を行う。Aは前期、Bは後期の第1回目の授業に必ず参加すること。履修登録方法は2通りある。
	教養ゼミナールA(7)	前期	2	1~4	水4	コホ Jr.J.C. 水島 梨紗 照山 秀一	□	□	□	○	○	○	◇	①Web履修登録画面から登録(抽選) ②第1回目の授業参加時に、担当の先生から履修許可を得る。
	教養ゼミナールA(8)	前期	2	1~4	水2	井上 明浩	□	□	□	○	○	○	◇	※自身での登録は不可。
	教養ゼミナールB(1)	後期	2	1~4	火6	小林 茂	□	□	□	○	○	○	◇	各講義、どちらの履修登録方法になるかは、履修登録マニュアルに記載されている「教養ゼミナール・全学共通特別演習テーマ一覧」を確認すること。
	教養ゼミナールB(2)	後期	2	1~4	火5	久藏 孝幸 小林 茂	□	□	□	○	○	○	◇	
	教養ゼミナールB(3)	後期	2	1~4	月5	奥田 統己	□	□	□	○	○	○	◇	
	教養ゼミナールB(4)	後期	2	1~4	金5	河合 直樹	□	□	□	○	○	○	◇	
教養ゼミナールB(5)	後期	2	1~4	火1	佐野 友泰	□	□	□	○	○	○	◇		
教養ゼミナールB(6)	後期	2	1~4	火4	森 直久 伊藤 万利子 友野 貴之	□	□	□	○	○	○	◇		
教養ゼミナールB(7)	後期	2	1~4	水4	ハメット D.A.	□	□	□	○	○	○	◇		
全学共通特別演習A(1)	前期	2	2~4	水6	黄 昕	□	□	□	○	○	○	◇	履修登録方法は教養ゼミナールAと同様	
全学共通特別演習A(2)	前期	2	2~4	火1	佐野 友泰	□	□	□	○	○	○	◇		
全学共通特別演習B(1)	後期	2	2~4	金2	佐野 友泰	□	□	□	○	○	○	◇		
全学共通特別演習B(2)	後期	2	2~4	月4	大澤 真平 松川 敏道 新田 雅子 横山 登志子	□	□	□	○	○	○	◇	履修登録方法は教養ゼミナールBと同様	
全学共通特別演習C(1)	前期	2	3~4	水3	佐野 友泰 中村 裕子	□	□	□	○	○	○	◇	履修登録方法は教養ゼミナールAと同様	
全学共通特別演習C(2)	前期	2	3~4	火5	田中 敦士 栃真賀 透 井上 明浩	□	□	□	○	○	○	◇		
全学共通特別演習D(1)	後期	2	3~4	金3	大久保 薫	□	□	□	○	○	○	◇	履修登録方法は教養ゼミナールBと同様	

2025年度教養科目開講一覧表 《2025年度入学生に適用》

※注1 [経] 経済学科、[経営] 経営学科、[臨] 臨床心理学科、[法] 法律学科、[人] 人間科学科、[英] 英語英米文学科、[こ] こども発達学科

※注2 学科指定欄に記載のある科目の履修が可能 (○、◇、□)

※注3 ○印=教養科目認定 ◇印=[経営] [臨] [法] 専門科目認定、[こ] 自由選択科目認定 □印=[経] [経営] [臨] [法] その他の教養科目の単位として認定

分類	科目名称	開講期間	単位	配当年次	開講曜日・講時	担当教員	学 科 指 定							備考
							経	経営	臨	法	人	英	こ	
地域連携科目群	地域貢献A (1)	前期	2	1~4	金 4	浅沼 裕治 濱野 貴	○	○	□	○	○	○	○	
	地域貢献A (2)	前期	2	1~4	木 5	林 匡宏	○	○	□	○	○	○	○	
	地域貢献B	-	2	1~4	-	2025年度休講	○	○	□	○	○	○	○	隔年開講による休講
	地域貢献C	後期	2	1~4	木 5	林 匡宏	○	○	□	○	○	○	○	
	地域貢献D	-	2	1~4	-	2025年度休講	○	○	□	○	○	○	○	隔年開講による休講
	地域貢献活動A	-	1	1~4	-	教務部長	□	○	□	○	○	○	○	
	地域貢献活動B	-	1	1~4	-	2025年度休講	□	○	□	○	○	○	○	隔年開講による休講
	地域貢献活動C	-	1	1~4	-	教務部長	□	○	□	○	○	○	○	
地域貢献活動D	-	1	1~4	-	2025年度休講	□	○	□	○	○	○	○	隔年開講による休講	
グローバル科目群	日本語を教えるA	前期	2	1~4	火 3	佐藤 章	□	□	□	○	○	○	◇	
	日本語を教えるB	後期	2	1~4	火 3	佐藤 章	□	□	□	○	○	○	◇	
	異文化グループワークA	前期	2	1~4	月 4	白石 英才 ヒンクルマン D.W.	○	○	□	◇	○	○	◇	
	異文化グループワークB (1)	-	2	1~4	-	2025年度休講	○	○	□	◇	○	○	◇	
	異文化グループワークB (2)	-	2	1~4	-	2025年度休講	○	○	□	◇	○	○	◇	
	プロジェクトマネジメント入門 (1)	前期前半	2	1~4	木 4・5	櫻澤 智志 勝部 逸平	○	○	□					
	プロジェクトマネジメント入門 (2)	前期前半	2	1~4	月 4・5	櫻澤 智志 勝部 逸平				○	○	○	◇	
	プロジェクトマネジメント入門 (3)	後期前半	2	1~4	木 4・5	櫻澤 智志 勝部 逸平	○	○	□					
	TOEICトレーニングA	前期	2	1~4	火 2	スケルトン W.	□	□	□	◇	○	○	◇	
	TOEICトレーニングB	後期	2	1~4	火 2	スケルトン W.	□	□	□	◇	○	○	◇	
	TOEICトレーニングC (1)	前期	2	1~4	水 3	リン I.C.				◇	○	○	◇	
	TOEICトレーニングC (2)	前期	2	1~4	金 2	リン I.C.	□	□	□					
	TOEICトレーニングD (1)	後期	2	1~4	水 3	リン I.C.				◇	○	○	◇	
	TOEICトレーニングD (2)	後期	2	1~4	金 2	リン I.C.	□	□	□					
	海外スタディ I (1)	後期	2	1~4	水 5	黄 昕	○	○	□	○	○	○	◇	
	海外スタディ I (2)	通年	2	1~4	金 5	諸 洪一	○	○	□	○	○	○	◇	
	海外スタディ I (3)	通年	2	1~4	水 2	ハメット D.A.	○	○	□	○	○	○	◇	
	海外スタディ II (1)	後期	2	1~4	水 6	黄 昕	○	○	□	○	○	○	◇	
	海外スタディ II (2)	通年	2	1~4	金 6	諸 洪一	○	○	□	○	○	○	◇	
	海外スタディ II (3)	-	2	1~4	-	2025年度休講	○	○	□	○	○	○	◇	
	グローバルインターンシップ I (1)	通年	2	1~4	月 5	白石 英才 早川 淑人	○	○	□	○	○	○	◇	
	グローバルインターンシップ I (2)	前期	2	1~4	木 5	ヒンクルマン D.W.	○	○	□	○	○	○	◇	
グローバルインターンシップ II (1)	通年	2	1~4	月 6	白石 英才 早川 淑人	○	○	□	○	○	○	◇		
グローバルインターンシップ II (2)	後期	2	1~4	木 5	ヒンクルマン D.W.	○	○	□	○	○	○	◇		
グローバルインターンシップ II (3)	-	2	1~4	-	2025年度休講	○	○	□	○	○	○	◇		
グローバルボランティア I	-	2	1~4	-	2025年度休講	□	□	□	○	○	○	◇	隔年開講による休講	
グローバルボランティア II (1)	-	2	1~4	-	2025年度休講	□	□	□	○	○	○	◇	隔年開講による休講	
グローバルボランティア II (2)	-	2	1~4	-	2025年度休講	□	□	□	○	○	○	◇		

2. 英語 I A・II A、I B・II B クラス一覧表

学科	前期	後期	担当教員	講時
[経営]	英語 I A (1)	英語 II A (1)	西 真木子	月・1
[経営]	英語 I A (2)	英語 II A (2)	中村 亜希	月・1
[経営]	英語 I A (3)	英語 II A (3)	竹谷 明希子	月・1
[経営]	英語 I A (4)	英語 II A (4)	三浦 順子	月・1
[経営]	英語 I A (5)	英語 II A (5)	日高 慶美	月・1
[経営]	英語 I A (6)	英語 II A (6)	菅原 美穂子	月・1
[経営]	英語 I A (7)	英語 II A (7)	岡崎 清	月・1
[経]	英語 I A (8)	英語 II A (8)	水島 梨紗	月・2
[経]	英語 I A (9)	英語 II A (9)	中村 亜希	月・2
[経]	英語 I A (10)	英語 II A (10)	竹谷 明希子	月・2
[経]	英語 I A (11)	英語 II A (11)	三浦 順子	月・2
[経]	英語 I A (12)	英語 II A (12)	大池 京子	月・2
[経]	英語 I A (13)	英語 II A (13)	菅原 美穂子	月・2
[経]	英語 I A (14)	英語 II A (14)	三浦 夕佳	月・2
[臨]	英語 I A (15)	英語 II A (15)	中村 早百合	月・3
[臨]	英語 I A (16)	英語 II A (16)	三浦 夕佳	月・3
[臨]	英語 I A (17)	英語 II A (17)	及川 陽子	月・3
[臨]	英語 I A (18)	英語 II A (18)	堅田 諒	月・3
[臨]	英語 I A (19)	英語 II A (19)	大池 京子	月・3
[人]	英語 I A (20)	英語 II A (20)	木村 有咲	水・1
[人]	英語 I A (21)	英語 II A (21)	上村 真代	水・1
[人]	英語 I A (22)	英語 II A (22)	眞田 敬介	水・1
[英]	英語 I A (23)	英語 II A (23)	熊谷 由美子	木・1
[英]	英語 I A (24)	英語 II A (24)	岡崎 清	木・1
[法]	英語 I A (25)	英語 II A (25)	西 真木子	木・1
[法]	英語 I A (26)	英語 II A (26)	大田原 裕紀	木・1
[法]	英語 I A (27)	英語 II A (27)	中村 亜希	木・1
[法]	英語 I A (28)	英語 II A (28)	菅原 美穂子	木・1
[法]	英語 I A (29)	英語 II A (29)	眞田 敬介	木・1
[こ]	英語 I A (30)	英語 II A (30)	ホリー 綾乃	金・1

学科	前期	後期	担当教員	講時
[経営]	英語 I B (1)	英語 II B (1)	ミュア B.J.	金・3
[経営]	英語 I B (2)	英語 II B (2)	ハメット D.A.	金・3
[経営]	英語 I B (3)	英語 II B (3)	ミヤザキ D.R.	金・3
[経営]	英語 I B (4)	英語 II B (4)	スタシンスキ T.M.	金・3
[経営]	英語 I B (5)	英語 II B (5)	サイモンズ C.B.	金・3
[経営]	英語 I B (6)	英語 II B (6)	マーフィー M.J.	金・3
[経営]	英語 I B (7)	英語 II B (7)	スケルトン W.	金・3
[経営]	英語 I B (8)	英語 II B (8)	リン I.C.	金・3
[経]	英語 I B (9)	英語 II B (9)	ミュア B.J.	金・4
[経]	英語 I B (10)	英語 II B (10)	ハメット D.A.	金・4
[経]	英語 I B (11)	英語 II B (11)	ミヤザキ D.R.	金・4
[経]	英語 I B (12)	英語 II B (12)	スタシンスキ T.M.	金・4
[経]	英語 I B (13)	英語 II B (13)	サイモンズ C.B.	金・4
[経]	英語 I B (14)	英語 II B (14)	マーフィー M.J.	金・4
[経]	英語 I B (15)	英語 II B (15)	スケルトン W.	金・4
[経]	英語 I B (16)	英語 II B (16)	リン I.C.	金・4
[人]	英語 I B (17)	英語 II B (17)	コッター M.J.	月・2
[人]	英語 I B (18)	英語 II B (18)	ジョンソン R.J.	月・2
[人]	英語 I B (19)	英語 II B (19)	サイモンズ C.B.	月・2
[人]	英語 I B (20)	英語 II B (20)	高橋 ヘレン	月・2
[臨]	英語 I B (21)	英語 II B (21)	ハメット D.A.	月・4
[臨]	英語 I B (22)	英語 II B (22)	コンウェイ S.L.	月・4
[臨]	英語 I B (23)	英語 II B (23)	ハルボーセン J.	月・4
[臨]	英語 I B (24)	英語 II B (24)	イブリー M.	月・4
[臨]	英語 I B (25)	英語 II B (25)	フォルトナト H.	月・4
[臨]	英語 I B (26)	英語 II B (26)	コホ Jr.J.C.	月・4
[英]	英語 I B (27)	英語 II B (27)	リン I.C.	火・1
[英]	英語 I B (28)	英語 II B (28)	ミュア B.J.	火・1
[英]	英語 I B (29)	英語 II B (29)	ハメット D.A.	火・1
[法]	英語 I B (30)	英語 II B (30)	リン I.C.	火・2
[法]	英語 I B (31)	英語 II B (31)	ハメット D.A.	火・2
[法]	英語 I B (32)	英語 II B (32)	スタシンスキ T.M.	火・2
[法]	英語 I B (33)	英語 II B (33)	クレッサー L.M.	火・2
[法]	英語 I B (34)	英語 II B (34)	アッシュ B.C.	火・2
[法]	英語 I B (35)	英語 II B (35)	高橋 ヘレン	火・2
[法]	英語 I B (36)	英語 II B (36)	ミュア B.J.	火・2
[こ]	英語 I B (37)	英語 II B (37)	高橋 ヘレン	木・2
[こ]	英語 I B (38)	英語 II B (38)	ミュア B.J.	木・2
高大連携	英語 I B (39)		コホ Jr.J.C.	金・3
[臨]	英語 I B (40)	英語 II B (40)	コホ Jr.J.C.	月・5

3. 英語ⅢA・ⅣA、ⅢB・ⅣBクラス一覧表

学科	前期	後期	担当教員	講時
[経営] [経] [会計] [法][乙]	英語ⅢA(1)	英語ⅣA(1)	ホリー 綾乃	金・2 江別
[臨]	英語ⅢA(2)	英語ⅣA(2)	水島 梨紗	月・4
[臨]	英語ⅢA(3)	英語ⅣA(3)	三浦 夕佳	月・4
[臨]	英語ⅢA(4)	英語ⅣA(4)	及川 陽子	月・4
[臨]	英語ⅢA(5)	英語ⅣA(5)	堅田 諒	月・4
[臨]	英語ⅢA(6)	英語ⅣA(6)	柳澤 将志	月・4
[人]	英語ⅢA(7)	英語ⅣA(7)	木村 有咲	水・2
[人]	英語ⅢA(8)	英語ⅣA(8)	上村 真代	水・2
[人]	英語ⅢA(9)	英語ⅣA(9)	柳澤 将志	水・2
[英]	英語ⅢA(10)	英語ⅣA(10)	熊谷 由美子	木・2
[英]	英語ⅢA(11)	英語ⅣA(11)	大田原 裕紀	木・2

学科	前期	後期	担当教員	講時
[経営] [経] [会計] [法][乙]	英語ⅢB(1)	英語ⅣB(1)	フォルトナト H.	火・1 新札幌
[人]	英語ⅢB(2)	英語ⅣB(2)	ミュア B.J.	月・1
[人]	英語ⅢB(3)	英語ⅣB(3)	リン I.C.	月・1
[人]	英語ⅢB(4)	英語ⅣB(4)	ジョンソン R.J.	月・1
[人]	英語ⅢB(5)	英語ⅣB(5)	高橋 ヘレン	月・1
[臨]	英語ⅢB(6)	英語ⅣB(6)	ハメット D.A.	月・3
[臨]	英語ⅢB(7)	英語ⅣB(7)	コンウェイ S.L.	月・3
[臨]	英語ⅢB(8)	英語ⅣB(8)	ハルボーセン J.	月・3
[臨]	英語ⅢB(9)	英語ⅣB(9)	イブリー M.	月・3
[臨]	英語ⅢB(10)	英語ⅣB(10)	フォルトナト H.	月・3
[臨]	英語ⅢB(11)	英語ⅣB(11)	コホ Jr.J.C.	月・3
[英]	英語ⅢB(12)	英語ⅣB(12)	ハメット D.A.	水・1
[英]	英語ⅢB(13)	英語ⅣB(13)	リン I.C.	水・1
[英]	英語ⅢB(14)	英語ⅣB(14)	高橋 ヘレン	水・1

4. 中国語・韓国語クラス一覧表

学科	前期	後期	担当教員	講時
全学	初級中国語A	初級中国語B	大沼 尚子	月・3
全学	初級中国語C	初級中国語D	張 江林	木・4
全学	初級韓国語A	初級韓国語B	パク ジョン	月・3
全学	初級韓国語C	初級韓国語D	朴 武欽	木・4

学科	前期	後期	担当教員	講時
全学	応用中国語A	応用中国語B	大沼 尚子	月・4
全学	応用中国語C	応用中国語D	李 樹華	木・3
全学	応用韓国語A	応用韓国語B	金 美花	月・4
全学	応用韓国語C	応用韓国語D	李 英愛	木・3

5. 2025年度 スポーツA／B開講種目・担当者

曜日	講時	前期			後期				
		講義名	扱う種目・担当者		第1回授業日	講義名	扱う種目	第1回授業日	
水	2講	スポーツA(1) (40名程度)	バドミントン バレーボール	濱野	4月9日 (水)	スポーツB(1) (40名程度)	卓球 バスケットボール	濱野	9月24日 (水)
	3講	スポーツA(2) (40名程度)			4月9日 (水)	スポーツB(2) (40名程度)			9月24日 (水)
木	2講	スポーツA(3) (40名程度)			4月10日 (木)	スポーツB(3) (40名程度)			9月25日 (木)
金	1講	スポーツA(4) (40名程度)			4月11日 (金)	スポーツB(4) (40名程度)			9月26日 (金)
	2講	スポーツA(5) <u>こども発達学科</u> 指定クラス			4月11日 (金)	スポーツB(5) <u>こども発達学科</u> 指定クラス			9月26日 (金)

《留意事項》 ※教員から授業内で説明がありますので、その指示に従ってください。

- ・スポーツA・Bの授業は実技中心の内容で江別第2キャンパスのメインアリーナまたはサブアリーナで行います。
- ・毎回の授業後にMoodleによる授業の振返りを実施します。また、小テストと2回のレポート課題があります。
- ・メインアリーナ、サブアリーナで使用する上靴が必要となります。外靴を流用することはできません。
- ・第1回の授業より実技を行います。運動可能な服装と上靴を用意してください。
- ・第1回の授業の中でMoodleを使用しますので予めユーザー登録をしておいてください。

6. 教養ゼミナール・全学共通特別演習テーマ一覧

ゼミナール名	期間	担当教員	講時	テ マ	履修登録方法
教養ゼミナールA(1)	前期	黄 昕	水 5	台湾高雄大学交流(受入)プログラム	☆
教養ゼミナールA(2)	前期	小林 茂	火 6	死生学Ⅰ 死生学概論	★
教養ゼミナールA(3)	前期	久藏 孝幸 小林 茂	火 5	児童臨床に関わりたい人のための保育士試験の学びの広場	☆
教養ゼミナールA(4)	前期	奥田 統己	月 5	ヨーロッパの音楽文化—オーケストラを聴く	☆
教養ゼミナールA(5)	前期	河合 直樹	金 5	関係性の社会心理学 [入門編]	☆
教養ゼミナールA(6)	前期	井上 大樹 浅川 雅己	月 5	社会科学系(経済、教育等)専門誌を読む—日本社会の「あたりまえ」を客観視する—	☆
教養ゼミナールA(7)	前期	コホ Jr.J.C. 水島 梨紗 照山 秀一	水 4	Community outreach, project management (English language)	★
教養ゼミナールA(8)	前期	井上 明浩	水 2	障害に関する理解を深め、さらにパラスポーツ演習から共生社会の本質的な考えを理解する	★
教養ゼミナールB(1)	後期	小林 茂	火 6	死生学Ⅱ 死生学の展開	★
教養ゼミナールB(2)	後期	久藏 孝幸 小林 茂	火 5	児童臨床に関わりたい人のための保育士試験の学びの広場	☆
教養ゼミナールB(3)	後期	奥田 統己	月 5	ヨーロッパの音楽文化—オーケストラを聴く	☆
教養ゼミナールB(4)	後期	河合 直樹	金 5	関係性の社会心理学 [実践編]	☆
教養ゼミナールB(5)	後期	佐野 友泰	火 1	恋愛心理学	★
教養ゼミナールB(6)	後期	森 直久 伊藤 万利子 友野 貴之	火 4	認知科学概論	★
教養ゼミナールB(7)	後期	ハメット D.A.	水 4	就職に有利!英検対策!	★
全学共通特別演習A(1)	前期	黄 昕	水 6	台湾高雄大学交流(受入)プログラム	★
全学共通特別演習A(2)	前期	佐野 友泰	火 1	芸術療法入門	★
全学共通特別演習B(1)	後期	佐野 友泰	金 2	ジブリの心理学	★
全学共通特別演習B(2)	後期	大澤 真平 松川 敏道 新田 雅子 横山 登志子	月 4	社会福祉士国家試験対策講座(2、3年生向け)	★
全学共通特別演習C(1)	前期	佐野 友泰 中村 裕子	水 3	タイ(チェンマイ)スタディーツアー	★
全学共通特別演習C(2)	前期	田中 敦士 栃真賀 透 井上 明浩	火 5	特別支援学校教育実習に向けた模擬授業の実践演習	★
全学共通特別演習D(1)	後期	大久保 薫	金 3	ソーシャルワークの現場を知る・見る・感じる・学ぶ	★

※講義内容の詳細はシラバスをご参照ください。

～履修登録方法について～

★…第1回目の授業で履修者を決定する講義(※履修希望の場合は、必ず第1回目の授業に出席し、担当教員に履修の許可を受けてください)

☆…情報ポータルから履修登録を行う講義(※定員を超えた場合は抽選されます)

VI. 学籍について

1. 学籍とは

「学籍」とは、札幌学院大学の在学者としての身分を意味する用語です。学籍は入学によって発生します。

2. 休学

休学は、学生が疾病またはその他の事情により、3ヶ月以上修学できない場合に願い出により認められる制度で、学籍は継続されたままとなります。

- 1) 休学を希望する場合は、次の手続が必要です。
 - ①大学所定の様式（休学願）に必要事項を記入のうえ教育支援課に提出し、教授会の許可を得ること。
 - ②前期は5月21日、後期は10月31日以降に休学願を提出した場合、当該学期分の学費を納入していること。
- 2) 休学期間は、半年間又は1年間です。また、年度を超えての休学は認められません。
- 3) 年度を超えての休学を希望する場合は、新年度前にあらためて休学手続きを取ってください。
- 4) 休学期間は、通算で2年を超えることができません。
- 5) 休学期間中の学費は不要です。

3. 復学

休学者の休学事由が消滅したときは、願い出により復学することができます。復学できる時期は、教育課程編成との関係で、学期の始め（第1学期（前期）または第2学期（後期）の開始日）に限定されています。

- 1) 復学を希望する場合は、次の手続が必要です。
 - ①大学所定の様式（復学願）に必要事項を記入のうえ教育支援課に提出し（復学手数料（2,000円）が必要となります）、教授会の許可を得ること。
 - ②前期からの復学希望者は2月末まで、後期からの復学希望者は8月末までに復学願を提出すること。
 - ③教授会での許可後に送られてくる学費納付書に書かれている期限までに学費を納入すること。
- 2) 復学後の学年は、休学時の学年で半年以上の在学期間があるかどうかで決まります。休学する際、復学後には何年生になるのかを確認するようにしてください。復学した際の学年により、復学後に履修登録できる科目が異なります。

4. 学籍の喪失

通常、卒業することで学籍は喪失（本学の学生でなくなること）します。卒業以外で学籍が喪失する場合としては、「退学」と「除籍」があります。

- 1) 退学は、学生自身の意志により学籍を喪失（本学の学生でなくなること）することです。退学は、学生の意志によるものですから、いつでも願い出ることはできますが、次の手続が必要で、
 - ①大学所定の様式（退学願）に必要事項を記入のうえ教育支援課に提出し、教授会の許可を得ること。
 - ②一定期間経過後は、退学日が含まれる学期分の学費を納入していること。

- 2) 休学期間中でも退学を願い出ることができますが、除籍となった者は、退学を願い出ることにはできません。
- 3) 退学には、学生の自由意志に基づくもののほか、懲戒処分としての退学があります。懲戒処分としての退学は、学生が本学の秩序を乱し、その他学生の本分に反した場合、その内容、軽重等を考慮し、別に定める「学生の処分に関する運用細則」の規定により、在学契約を解消することです。
- 4) 懲戒処分としての退学とは別に、大学が一方的に在学契約を解消する必要のある場合があります。これを除籍と呼んでいます。本学学則において定められている除籍の事由は、次のとおりです。
 - ① 8年の年数を在学しても規定の単位を修得せず卒業できない者
 - ② 4年の年数を在学しても、規定の単位を修得せず第3年次に進級できない者
 - ③ 休学期間を過ぎても所定の手続きをとらない者
 - ④ 所定の授業料その他の納入金を期限を過ぎても、無届けのまま納入しない者
 - ⑤ 正当な理由なく授業科目の履修登録を所定の期限までに行わない者

なお、死亡の場合も除籍とします。

5. 再入学

本学を自主的に退学した場合、または学費未納や履修登録を行わなかったことで除籍となった場合は、願い出により再入学を許可する場合があります。ただし、退学時等の学部が既に開設されていない場合など、再入学ができない場合もあります。詳細は、教育支援課にお問い合わせください。

6. 転学部・転学科

本学の学生で、所属学部・学科以外の学部・学科へ移ることを転学部・転学科といいます。転学部・転学科は、毎年全ての学部学科で行うわけではありません。毎年秋頃に、翌年度の転学部・転学科試験の説明会を実施するので、希望者は必ず参加し、条件等を確認するようにしてください。

7. 卒業延期

卒業延期者には、当該学生に適用されているカリキュラム及び履修制度をそのまま適用します。また、卒業単位数不足により卒業延期者となった場合、卒業までに必要な単位数が少数の場合に限り授業料の減免措置があります。詳細は、教育支援課で確認してください。

8. 在学年限

本学の在学年限は、次のとおりです。在学年限を越えて在学することはできません。

- 1) 通常の場合は、休学期間を除き8年です。
- 2) 2年次編入学生及び転学部転学科生は7年です。
- 3) 3年次編入学生及び転学部転学科生は6年です。
- 4) 再入学者の在学年限は、退学・除籍以前を加えて8年です。

9. 前期末卒業

本学に4年以上在学していながら単位数不足で年度末に卒業できなかった場合、前期の終了をもって卒業の条件を満たした場合は、前期末で卒業となります。

10. 卒業見込証明書の発行基準

第3学年末（留年生については前年度末）において卒業に必要な単位数のうち90単位以上を修得し、かつ履修登録による仮卒業判定において卒業が可能である学生には、卒業見込証明書を発行します。発行時期については、毎年情報ポータル等で周知します。

なお、90単位を満たしておらず、卒業見込証明書の発行ができない学生についても、下表の追加発行基準を満たした場合、後期から卒業見込証明書を発行することがあります。

逆に、卒業見込証明書の発行対象者であっても、当年度内に卒業要件を満たすことができないことが判明した場合は、それ以後の卒業見込証明書を発行しません。4年以上在学し、卒業延期となった学生についても同様の取り扱いとします。

<前期成績を考慮した追加発行基準>

10単位以内で上記の発行基準に達しなかった学生については、前期成績確定後に後期科目を単位修得したとみなして卒業仮判定を行います。この仮判定で合格となった者には、それ以降、卒業見込証明書を発行します。

Ⅶ. 他学部・他学科授業科目の履修について

—他学部・他学科の専門科目を履修する場合—

広く教養を深めるとともに、関連ある分野の研究を学ぶことに意義があると認められた授業科目については、他学部・他学科の専門科目であっても履修することができます。また、単位を修得した場合は、教養科目（全学共通科目）または専門科目として認定されます。

履修できる科目は、所属する学部学科により制限があります。以降の表を参照して、指定に従って履修してください。

また、遠隔授業を実施する科目は、他学部・他学科履修が認められないため、履修できる科目が変更になる可能性もあります。詳細は教育支援課・各学部学科担当者にお問い合わせください。

「学部指定」欄の記号の意味は、以下の通りです。

記号	
○	履修可能／単位を修得した場合は「教養科目（全学共通科目）」として認定
●	履修可能／単位を修得した場合は「専門科目」として認定
◇	履修可能／単位を修得した場合は「自由選択科目」として認定
◎	履修可能／下記参照（心理学部のみ）
—	履修はできません

※なお、人文学部こども発達学科生の他学部・他学科専門科目の履修については、○、●のどちらの科目も「自由選択科目」として認定されます。

※心理学部では、◎の科目は20単位を上限とし、「その他科目」として卒業要件に加算します。

課程修了の要件に加算できる単位数

他学部・他学科の専門科目を履修し、教養科目または専門科目として認定された単位は、下表に従って、学部履修細則の「課程修了の要件」に規定する単位数に加算します。

課程修了の要件に加算できる単位数（科目数）		
学部・学科	教養科目	専門科目
経済経営学部経済学科	20単位を上限（※）	専門科目としては認定しない
経済経営学部経営学科	教養科目としては認定しない	24単位を上限
人文学部人間科学科	8単位を上限（※）	24単位を上限
人文学部英語英米文学科	8単位を上限（※）	24単位を上限
人文学部こども発達学科	自由選択科目に加算する（上限を設けない）	
心理学部臨床心理学科	「その他科目」として卒業要件に加算する（20単位を上限）	
法学部法律学科	教養科目としては認定しない	16単位を上限

※ ここで加算した単位は、基礎科目群、人文・社会・健康・自然科目群、キャリア・総合科目群から修得すべき最低修得単位数として取り扱わない。

経済経営学部経済学科が開講する専門科目

授業科目名	単位	配当年次	学部指定			備考
			人文	心理	法	
ミクロ経済学Ⅰ	2	1年	○	◎	—	
マクロ経済学Ⅰ	2	1年	○	◎	—	
統計学Ⅰ	2	1年	○	◎	●	
政治経済学Ⅰ	2	1年	○	◎	●	
簿記	2	1年	●	◎	●	
IT基礎	2	1年	○	◎	●	
社会調査入門	2	1年	●	◎	—	
ミクロ経済学Ⅱ	2	2年	○	◎	●	
マクロ経済学Ⅱ	2	2年	○	◎	●	
統計学Ⅱ	2	2年	○	◎	●	
政治経済学Ⅱ	2	2年	○	◎	●	
日本経済史Ⅰ	2	2年	●	◎	●	
西洋経済史Ⅰ	2	2年	●	◎	●	
日本経済史Ⅱ	2	2年	●	◎	●	
西洋経済史Ⅱ	2	2年	●	◎	●	
経済統計学	2	2年	—	◎	●	
財政学Ⅰ	2	2年	○	◎	—	
金融論Ⅰ	2	2年	●	◎	●	
データ解析基礎Ⅱ	2	2年	○	◎	—	
情報通信ネットワーク論	2	2年	○	◎	●	
社会調査方法論	2	2年	—	◎	—	
社会調査基礎演習	2	2年	●	◎	●	
資料収集法	2	2年	●	◎	●	
社会情報学	2	2年	●	◎	●	
IT演習A	2	2年	○	◎	●	
IT演習B	2	2年	○	◎	●	
プログラミング基礎	2	2年	○	◎	●	
金融論Ⅱ	2	3年	●	◎	●	
社会保障論	2	2年	○	◎	●	
企業論	2	2年	○	◎	●	
プログラミング基礎	2	2年	○	◎	●	
宅建演習（権利関係）	2	2年	○	◎	●	
宅建演習（宅建業法）	2	2年	○	◎	●	
宅建演習（法令上の制限）	2	2年	○	◎	●	
財政学Ⅱ	2	3年	○	◎	●	
国際経済学Ⅱ	2	3年	●	◎	—	
開発経済学	2	3年	○	◎	●	
北海道経済論B	2	3年	○	◎	—	
農業経済学	2	3年	○	◎	●	
データベース基礎	2	3年	○	◎	●	
情報セキュリティ論	2	3年	○	◎	●	
AI論	2	3年	○	◎	●	
日本経済論Ⅰ	2	3年	●	◎	●	
経済学特別講義	2	3年	○	◎	●	
環境経済論	2	3年	○	◎	●	

授業科目名	単位	配当年次	学部指定			備考
			人文	心理	法	
労働経済学	2	3年	○	◎	●	
地方財政論	2	3年	○	◎	●	
地域経済学A	2	3年	○	◎	●	
北海道経済論A	2	3年	○	◎	—	
日本経済論Ⅱ	2	3年	●	◎	●	
応用ミクロ経済学	2	3年	○	◎	●	
国際経済学Ⅰ	2	3年	●	◎	—	
国際金融論	2	3年	●	◎	●	
ファイナンス論	2	3年	○	◎	●	
地域経済学B	2	3年	○	◎	●	
行動経済学Ⅰ	2	3年	○	◎	●	
行動経済学Ⅱ	2	3年	○	◎	●	
医療経済学	2	3年	○	◎	●	
社会計量分析	2	3年	○	◎	●	
AⅠと経済学	2	3年	○	◎	●	
プログラミング応用	2	3年	○	◎	●	

経済経営学部経営学科が開講する専門科目

授業科目名	単位	配当年次	学部指定			備考
			人文	心理	法	
簿記Ⅰ	4	1年	●	◎	●	
簿記Ⅱ	4	1年	●	◎	●	
簿記Ⅲ	4	1年	●	◎	●	
工業簿記	4	1年	●	◎	●	
経営管理論	2	1年	○	◎	●	
流通論	2	1年	○	◎	●	
経営戦略論	2	2年	●	◎	●	
消費者行動論	2	2年	○	◎	●	
経済経営学と現代社会	2	2年	○	◎	●	
商品・サービス開発論	2	2年	○	◎	●	
人事管理概論	2	2年	●	◎	●	
財務会計論	2	2年	○	◎	●	
原価計算論	2	2年	○	◎	●	
ITソリューション論	2	2年	●	◎	●	
ホスピタリティ・マネジメント	2	2年	○	◎	●	
ITコーディネート論	2	2年	○	◎	●	
情報管理論	2	2年	○	◎	●	
金融システム	2	2年	○	◎	●	
マーケティング戦略論	2	2年	○	◎	●	
エアライン・サービス論	2	2年	○	◎	●	
交通論	2	2年	○	◎	●	
管理会計論	2	3年	○	◎	●	
国際会計論	2	3年	○	◎	●	
国際金融システム	2	3年	—	◎	●	

授業科目名	単位	配当年次	学部指定			備考
			人文	心理	法	
マーケティング・リサーチ	2	3年	○	◎	●	
ブランド広告論	2	3年	○	◎	●	
経営組織論	2	3年	●	◎	●	
人的資源管理論	2	3年	●	◎	●	
観光論	2	3年	○	◎	●	
物流論	2	3年	○	◎	●	
ベンチャー起業論	2	3年	○	◎	●	
ボランティアマネジメント論	2	3年	○	◎	●	
社会人スキル	2	3年	○	◎	●	
ITコーディネート応用論	2	3年	○	◎	●	
経営学特別講義	2	3年	○	◎	●	

人文学部人間科学科が開講する専門科目

授業科目	単位	配当年次	学部指定				備考
			経営 (学科)	経済 (学科)	法	心理	
社会学概論	2	1年	●	○	●	—	
社会福祉論A	2	1年	●	○	●	—	
障害学	2	1年	●	○	●	◎	
コミュニケーションとアクセシビリティⅠ	2	1年～	●	○	●	◎	
コミュニケーションとアクセシビリティⅡ	2	1年～	●	○	●	◎	
文化人類学	2	1年～	●	○	●	—	
自然環境と歴史	2	1年～	●	○	●	◎	
社会福祉論B	2	1年～	●	○	—	—	
発達心理学A	2	1年～	●	○	●	—	
発達心理学B	2	1年～	●	○	●	—	
子どもの権利と教育	2	1年～	●	○	●	◎	
ジェンダーの社会学	2	1年～	●	○	●	◎	
考古学A	2	1年～	●	○	●	◎	
考古学B	2	1年～	●	○	●	◎	
民俗学A	2	1年～	●	○	●	◎	
民俗学B	2	1年～	●	○	●	◎	
博物館概論	2	1年～	●	○	●	◎	
博物館教育論	2	1年～	●	○	●	◎	
博物館情報・メディア論	2	1年～	●	○	●	◎	
特別支援教育総論	2	1年～	●	○	●	—	教職登録者のみ履修可
発達障害教育論	2	1年～	●	○	●	—	教職登録者のみ履修可
北海道史研究A	2	2年～	●	○	●	◎	
北海道史研究B	2	2年～	●	○	●	◎	
文化と情報	2	2年	●	○	●	—	
バリアフリーと教育	2	2年～	●	○	●	—	
共生の思想	2	2年～	●	○	●	—	
子どもの生活環境	2	2年～	●	○	●	—	
北海道の文学	2	2年～	●	○	●	—	
博物館資料論	2	2年～	●	○	●	◎	

授業科目	単位	配当年次	学部指定				備考
			経営 (学科)	経済 (学科)	法	心理	
博物館展示論	2	2年～	●	○	●	◎	
博物館経営論	2	2年～	●	○	●	◎	
家族社会学	2	2年～	●	○	●	◎	
産業社会学	2	2年～	●	○	●	◎	
教育社会学	2	2年～	●	○	●	◎	
社会保障論 A	2	2年～	●	—	—	—	
社会保障論 B	2	2年～	●	—	●	—	
障害者福祉論	2	2年～	●	○	●	—	
高齢者福祉論	2	2年～	●	○	●	◎	
児童福祉論	2	2年～	●	○	●	◎	
児童福祉特論	2	2年～	●	○	●	◎	
公的扶助論	2	2年～	●	○	●	◎	
地域福祉論 A	2	2年～	●	○	—	◎	
地域福祉論 B	2	2年～	●	○	●	◎	
医療福祉論	2	2年～	●	○	●	◎	
司法福祉論	2	2年～	●	○	—	◎	
教育心理学 A	2	2年～	●	○	●	◎	
教育心理学 B	2	2年～	●	○	●	◎	
口頭史口頭伝承論	2	2年～	●	○	●	◎	
文化動態論	2	2年～	●	○	●	◎	
地域文化史	2	2年～	●	○	●	◎	
文化財概論	2	2年～	●	○	●	◎	
北方の歴史・文化	2	2年～	●	○	●	◎	
アジア社会史	2	2年～	●	○	●	◎	
社会心理学 A	2	2年～	●	○	●	—	
社会心理学 B	2	2年～	●	○	●	—	
健康教育概論	2	2年～	●	○	●	◎	
知的障害教育 I	2	2年～	●	○	●	—	教職登録者のみ履修可
知的障害教育 II	2	2年～	●	○	●	—	教職登録者のみ履修可
肢体不自由教育 I	2	2年～	●	○	●	—	教職登録者のみ履修可
肢体不自由教育 II	2	2年～	●	○	●	—	教職登録者のみ履修可
病弱教育	2	2年～	●	○	●	—	教職登録者のみ履修可
知的障害者の心理学	2	2年～	●	○	●	—	教職登録者のみ履修可
知的障害者の生理・病理	2	2年～	●	○	●	—	教職登録者のみ履修可
肢体不自由者の心理・生理・病理	2	2年～	●	○	●	—	教職登録者のみ履修可
病弱者の心理・生理・病理	2	2年～	●	○	●	—	教職登録者のみ履修可
視覚障害教育総論	2	2年～	●	○	●	—	教職登録者のみ履修可
聴覚障害教育総論	2	2年～	●	○	●	—	教職登録者のみ履修可
言語障害教育論	2	2年～	●	○	●	—	教職登録者のみ履修可
デジタルアーカイブ論	2	3年	●	○	●	—	
特別支援教育各論 I (コーディネーター論)	2	3年～	●	○	●	—	教職登録者のみ履修可
特別支援教育各論 II (IEP論)	2	3年～	●	○	●	—	教職登録者のみ履修可
重複障害教育総論	2	3年～	●	○	●	—	教職登録者のみ履修可
特別支援教育実習	3	3年～	●	○	●	—	教職登録者のみ履修可
関係論の心理学	2	3年～	●	○	●	◎	

人文学部英語英米文学科が開講する専門科目

授業科目	単位	配当年次	学部指定				備考
			経営 (学科)	経済 (学科)	法	心理	
英米文学への誘い	2	1年～	●	○	●	◎	
英米文化論A	2	1年～	●	○	●	◎	
英米文化論B	2	1年～	●	○	●	◎	
留学・観光英語A	2	1年～	●	○	●	◎	
留学・観光英語B	2	1年～	●	○	●	◎	
Oral Communication D	2	1年～	●	○	●	◎	
コミュニケーションスキルズ基礎	2	2年～	●	○	●	◎	
英米文学史A	2	2年～	●	○	●	◎	
英米文学史B	2	2年～	●	○	●	◎	
英米文学史C	2	2年～	●	○	●	◎	
英米史A	2	2年～	●	○	●	◎	
英米史B	2	2年～	●	○	●	◎	
English Writing C	2	2年～	●	○	●	◎	
英米社会研究A	2	3年～	●	○	●	◎	
英米文学の世界A	2	3年～	●	○	●	◎	
英米文学の世界B	2	3年～	●	○	●	◎	
英米社会研究B	2	3年～	●	○	●	◎	
英米文学の世界C	2	3年～	●	○	●	◎	
英米文学の世界D	2	3年～	●	○	●	◎	
英語学A	2	3年～	●	○	●	◎	
英語学B	2	3年～	●	○	●	◎	
資格・検定英語	2	3年～	●	○	●	◎	
異文化コミュニケーションスキルズA	2	3年～	●	○	●	◎	
異文化コミュニケーションスキルズB	2	3年～	●	○	●	◎	
Current English	2	3年～	●	○	●	◎	
Discussion	2	3年～	●	○	●	◎	

人文学部こども発達学科が開講する専門科目

授業科目	単位	配当年次	学部指定				備考
			経営 (学科)	経済 (学科)	法	心理	
生涯学習概論A	2	1年～	●	○	●	◎	
生涯学習概論B	2	1年～	●	○	●	◎	

心理学部臨床心理学科が開講する専門科目

授業科目	単位	配当年次	学部指定				備考
			経営 (学科)	経済 (学科)	人文	法	
臨床心理学概論	2	1年	—	—	●	—	
青年心理学	2	2年	●	○	●	●	
社会心理学	2	2年	●	○	—	●	
キャリアカウンセリング論	2	2年	●	○	●	●	
トラウマと災害の心理学	2	2年	●	○	●	●	
発達心理臨床A (幼児・児童・青年期臨床)	2	2年	●	○	●	●	
発達心理臨床B (成人・老年期臨床)	2	2年	●	○	●	●	
裁判心理学	2	3年	●	○	●	●	

法学部法律学科が開講する専門科目

授業科目	単位	配当年次	学部指定				備考
			経営 (学科)	経済 (学科)	人文	心理	
憲法A（人権）	2	1年	●	○	○	◎	
刑法入門	2	1年	●	○	○	◎	
政治学	2	1年	●	○	●	◎	
憲法B（統治機構）	2	2年	●	○	○	◎	
憲法C（訴訟）	2	2年	●	—	○	◎	
民法A（総則・物権）	4	2年	●	—	○	◎	
民法B（債権）	4	2年	●	—	○	◎	
刑法総論	2	2年	●	○	○	◎	
行政学	2	2年	●	—	○	◎	
会社法A（ガバナンス）	2	2年	—	—	○	◎	
会社法B（ファイナンス）	2	2年	—	—	○	◎	
公共政策論	2	2年	●	—	○	◎	
法制史	2	2年	●	○	○	◎	
スポーツ法A	2	2年	●	○	○	◎	(2025年度休講)
スポーツ法B	2	2年	●	○	○	◎	
刑事訴訟法Ⅰ	2	2年	●	—	○	◎	
刑事訴訟法Ⅱ	2	2年	●	—	○	◎	
地域創生講座	2	2年	●	○	○	◎	
刑事政策	2	2年	●	—	○	◎	
ジェンダーと法	2	2年	●	○	○	◎	
近代政治思想	2	2年	●	○	●	◎	
行政法A（作用法）	2	2年	●	—	●	◎	
行政法B（組織法）	2	2年	●	—	●	◎	
税法Ⅰ（概説）	2	2年	●	—	○	◎	
日本の法社会史	2	2年	●	○	○	◎	
公務員対策特別演習A	2	2年	●	—	○	◎	公務員進路支援演習
公務員対策特別演習B	2	2年	●	—	○	◎	公務員進路支援演習
公務員対策特別演習C	2	2年	●	—	○	◎	公務員進路支援演習

授業科目	単位	配当年次	学部指定				備考
			経営 (学科)	経済 (学科)	人文	心理	
公務員対策特別演習D	2	2年	●	—	○	◎	公務員進路支援演習
公務員対策特別演習E	2	2年	●	—	○	◎	公務員進路支援演習
法政特殊講義A	2	2年	●	○	○	◎	
法政特殊講義B	2	2年	●	○	○	◎	
法政特殊講義C	2	2年	●	○	○	◎	
法政総合講座A	2	2年	●	○	○	◎	(2025年度休講)
法政総合講座B	2	2年	●	○	○	◎	(2025年度休講)
経営学概論	2	2年	●	○	○	◎	
経済と法	2	2年	●	○	○	◎	
経営と法	2	2年	●	○	○	◎	
消費者と法	2	2年	●	○	○	◎	
情報と法	2	2年	●	○	○	◎	
国際関係論	2	2年	●	○	●	◎	
地方自治論	2	2年	●	—	○	◎	
現代社会の基礎	2	2年	●	○	●	◎	
地域メディア論	2	2年	●	○	●	◎	
地域社会論	2	2年	●	○	●	◎	
民法C（親族・相続）	2	3年	●	○	○	◎	
会社法C（組織再編）	2	3年	●	—	○	◎	
労働法A	2	3年	●	○	●	◎	
労働法B	2	3年	●	○	●	◎	
社会保障法	2	3年	●	—	●	◎	
知的財産法A（著作権法その他）	2	3年	●	—	○	◎	
知的財産法B（特許法その他）	2	3年	●	—	○	◎	
刑法各論Ⅰ	2	3年	●	○	○	◎	
刑法各論Ⅱ	2	3年	●	○	○	◎	
民事訴訟法Ⅰ	2	3年	●	○	○	◎	
民事訴訟法Ⅱ	2	3年	●	○	○	◎	
行政法C（救済法）	2	3年	●	○	○	◎	
税法Ⅱ（法人税法）	2	3年	●	—	○	◎	(2025年度休講)
公務員対策特別演習F	2	3年	●	—	○	◎	公務員進路支援演習
公務員対策特別演習G	2	3年	●	—	○	◎	公務員進路支援演習
公務員対策特別演習H	2	3年	●	○	○	◎	公務員進路支援演習
公務員対策特別演習Ⅰ	2	3年	●	○	○	◎	公務員進路支援演習
金融商品取引法	2	3年	●	○	○	◎	

経済経営学部他学科履修科目（2025年度以降入学生用）

【経営学科専門科目】 専：専門科目 教：教養科目 他：その他科目 -：履修不可

科目名	単位	配当年次	経済
経営学入門	2	1	教
会計学入門	2	1	-
現代ビジネス論(2)	2	1	-
↑現代ビジネス(1)は教養科目として開講			
経済学入門(2)	2	1	専
↑経済学入門(1)は経済学科生のみ履修可			
簿記Ⅰ	4	1	-
簿記Ⅱ	4	1	-
簿記Ⅲ	4	1	-
工業簿記	4	1	-
基礎ゼミナールⅠ	2	1	-
基礎ゼミナールⅡ	2	1	-
専門ゼミナールⅠ	2	2	-
専門ゼミナールⅡ	2	2	-
応用ゼミナールⅠ	2	3	-
応用ゼミナールⅡ	2	3	-
応用ゼミナールⅢ	2	4	-
卒業論文	4	4	-
プロジェクト実践Ⅰ	2	2	-
プロジェクト実践Ⅱ	2	2	-
フィールド実践	4	3	-
商品・サービス開発実践	4	3	教
ソーシャルビジネス実践	4	3	教
経営管理論	2	1	教
マーケティング概論	2	1	教
流通論	2	1	教
経営戦略論	2	2	教
消費者行動論	2	2	教
経済経営学と現代社会	2	2	専
商品・サービス開発論	2	2	教
人事管理概論	2	2	教
財務会計論	2	2	教
原価計算論	2	2	教
ITソリューション論	2	2	教
ファイナンシャルプランⅠ	2	2	-
ファイナンシャルプランⅡ	2	2	-
企業論	2	2	専
ホスピタリティ・マネジメント	2	2	教
ITコーディネータ論	2	2	教
情報管理論	2	2	教
職業指導Ⅰ	2	2	-
職業指導Ⅱ	2	2	-
商業概論Ⅰ	2	2	-
商業概論Ⅱ	2	2	-

科目名	単位	配当年次	経済
金融システム	2	2	教
マーケティング戦略論	2	2	教
エアライン・サービス論	2	2	教
交通論	2	2	教
管理会計論	2	3	教
国際会計論	2	3	教
国際金融システム	2	3	教
マーケティング・リサーチ	2	3	教
ブランド広告論	2	3	教
経営組織論	2	3	教
人的資源管理論	2	3	教
観光論	2	3	教
物流論	2	3	教
ベンチャー起業論	2	3	教
ボランティアマネジメント論	2	3	教
日本経済論Ⅰ	2	3	専
日本経済論Ⅱ	2	3	専
社会人スキル	2	3	教
ITソリューション応用論	2	3	-
ITコーディネータ応用論	2	3	教
経営学特別講義	2	3	専

【経済学科専門科目】 専：専門科目 教：教養科目 他：その他科目 -：履修不可

科目名	単位	配当年次	経営
プロ・ゼミナールⅠ	2	1	-
プロ・ゼミナールⅡ	2	1	-
専門ゼミナールⅠ	4	2	-
経済学入門(1)	2	1	-
経済学入門(2)※	2	1	専
ミクロ経済学Ⅰ	2	1	専
マクロ経済学Ⅰ	2	1	専
政治経済学Ⅰ	2	1	専
ミクロ経済学Ⅱ	2	2	専
マクロ経済学Ⅱ	2	2	専
政治経済学Ⅱ	2	2	専
日本経済史Ⅰ	2	2	専
西洋経済史Ⅰ	2	2	専
日本経済史Ⅱ	2	2	専
西洋経済史Ⅱ	2	2	専
社会保障論	2	2	専
経済数学	2	2	専
財政学Ⅰ	2	2	専
金融論Ⅰ	2	2	専
経済統計学	2	2	専
財政学Ⅱ	2	3	専
金融論Ⅱ	2	3	専
IT基礎	2	1	専
統計学Ⅰ	2	1	専
データ解析基礎Ⅰ(1)	2	1	専
データ解析基礎Ⅰ(2)	2	1	専
IT演習A	2	2	専
IT演習B	2	2	専
情報通信ネットワーク論	2	2	専
統計学Ⅱ	2	2	専
データ解析基礎Ⅱ	2	2	専
情報セキュリティ論	2	3	専
ビジネス数学演習	2	3	専
憲法入門	2	1	専
民法入門	2	1	専
社会調査入門	2	1	専
簿記	2	1	-
社会調査方法論	2	2	専
社会調査基礎演習	2	2	専
資料収集法	2	2	専
社会情報学	2	2	専
企業論	2	2	専
経済経営学と現代社会※	2	3	専
経営学特別講義※	2	3	専
日本経済論Ⅰ※	2	3	専
日本経済論Ⅱ※	2	3	専

科目名	単位	配当年次	経営
地域経済学A	2	3	専
地域経済学B	2	3	専
北海道経済論A	2	3	専
北海道経済論B	2	3	専
地方財政論	2	3	専
応用ミクロ経済学	2	3	専
応用マクロ経済学	2	3	専
環境経済論	2	3	専
農業経済学	2	3	専
計量経済学	2	3	専
開発経済学	2	3	専
国際経済学Ⅱ	2	3	専
医療経済学	2	3	専
行動経済学Ⅰ	2	3	専
産業調査演習	4	3	専
社会調査演習	4	3	専
社会計量分析	2	3	専
AIと経済学	2	3	専
経済学特別講義	2	3	専
専門ゼミナールⅡ	4	3	-
専門ゼミナールⅢ	4	4	-
卒業論文	4	4	-
国際経済学Ⅰ	2	3	専
ファイナンス論	2	3	専
国際金融論	2	3	専
労働経済学	2	3	専
行動経済学Ⅱ	2	3	専
公務員演習(入門)	2	1	-
公務員演習(一般知識)	2	2	-
公務員演習(数的推理)	2	2	-
公務員演習(判断推理)	2	2	-
公務員演習(専門・法学基礎)	2	2	-
公務員演習(判断推理応用)	2	3	-
公務員演習(数的推理応用)	2	3	-
ファイナンシャル・プランニングA	2	2	-
ファイナンシャル・プランニングB	2	2	-
ファイナンシャル・プランニングC	2	2	-
ファイナンシャル・プランニングD	2	2	-
プログラミング基礎	2	2	専
AIとコンピュータ	2	2	専
プログラミング応用	2	3	専
データベース基礎	2	3	専
AⅠ論	2	3	専
宅建演習(権利関係)※	2	2	専
宅建演習(宅建業法)※	2	2	専
宅建演習(法令上の制限)※	2	2	専

経営学科では、他学部・他学科授業科目の単位を修得した場合、24単位を上限に専門科目として課程修了の要件に含めることができる。ただし、科目名に「※」のついたものについては、24単位の上限に含めず、すべて課程修了の要件に含める。

Ⅷ. 札幌圏大学・短期大学間の単位互換制度について

本学は、札幌国際大学、札幌国際大学短期大学部、札幌大学、東海大学、藤女子大学、北翔大学、北翔大学短期大学部、北星学園大学、北星学園大学短期大学部、北海道科学大学、北海道情報大学、北海道文教大学、酪農学園大学と単位互換協定を結んでいます。この単位互換制度では、この制度に参加する協定大学が提供する単位互換科目を履修し、それを所属大学の単位として認定するという制度です。各大学の特色ある科目が単位互換科目として提供されていますので、各自の専攻を深めるため、あるいは本学に無い分野の科目を学ぶためなどにこの制度を活用してください。

履修を希望する学生は、教育支援課窓口で配付する『募集要項』をよく読み、所定の期限までに出願手続きを行ってください。

なお、この制度により履修できる単位数は、1年間に10単位以内です（本学での履修登録単位数制限には含まれません）。また、単位を修得した科目が卒業要件単位として認定されるか否は所属学部によって取り扱いが異なりますので、事前に教育支援課窓口にて確認してください。

2025年度単位互換協定大学

2025年度の単位互換協定大学（学部・学科）は次のとおりです。各大学の所在地・交通機関等については、各大学のホームページ等で確認してください。

大学

- ・札幌国際大学
- ・札幌大学
- ・東海大学
- ・藤女子大学
- ・北翔大学
- ・北星学園大学
- ・北海道科学大学
- ・北海道情報大学
- ・北海道文教大学
- ・酪農学園大学

短期大学

- ・札幌国際大学短期大学部
- ・北翔大学短期大学部
- ・北星学園大学短期大学部

※藤女子大学の科目は、男子学生が受講することはできません。

出願手続き等

1. 出願手続きについて

(1) 出願資格

本学に在学する2年次以上の学部生は、許可を受ければ誰でも出願することができます。ただし、**4年次以上の学部生は、出願時に各学部が定める卒業見込証明書の発行基準を満たしていることを要件とします。**

履修可能な単位数は、すべての協定大学を合わせて年間10単位以内で、卒業要件として認定される科目・単位数は、所属学部によって異なります。詳細は、本学教育支援課の各学部窓口で確認してください。なお、この単位数は、本学における履修登録単位数制限には含まれません。

(2) 出願方法（出願期間・出願書類・提出場所）および授業料等

前期及び後期のはじめに、本学教育支援課の各学部窓口で出願受付を行います。希望者は、本学教育支援課窓口で『募集要項』を受取り、それに綴られている「札幌圏大学・短

期大学間単位互換履修生許可願（様式第1号）」により、所定の期間内に手続きを行ってください。

授業料は、原則として無料ですが、実験・実習・実技・演習等の科目で実習料等の経費が必要な場合があります。

（3）履修許可および仮受講

提出した出願書類は、本学から単位互換履修生の受入れ大学に送付されます。選考結果は、本学を通じて出願者に通知されます。履修が許可された学生には、「札幌圏大学・短期大学間単位互換履修生の単位互換科目履修許可書（様式第2号）」と「身分証明書」が交付されます。

なお、出願して履修許可通知が届く前に授業が開始されることがありますが、この間はその授業科目を仮受講することができます。

2. 単位互換履修生の取扱い

履修が許可された学生は、受入れ大学における「単位互換履修生」となります。

- （1）単位互換履修生は、履修許可を受けた科目を受講し、所定の試験に合格すれば単位の認定を受けることができます。
- （2）授業・試験については、すべて受入れ大学の定める方法に従ってください。なお、本学と受入れ大学の定期試験の日程が重なった場合は、原則として受入れ大学の定期試験を優先し、本学の追試験手続きを取ってください。
- （3）単位互換履修生の期間は、受入れ大学の定める範囲において、施設、設備及び制度を利用することができます。

3. 出願に際しての注意事項

- （1）出願にあたっては、本学の履修登録を行った上で、しっかりした履修計画を立て、履修許可を受けた後で履修を取り止めることがないように各自心がけてください。やむを得ない事情によって、出願を取り消す場合は、本学を通じて所定の手続きを取らなければなりません。なお、原則として履修許可後の取り消しはできません。
- （2）**卒業年次の学生は、履修科目が卒業要件単位としてどのように認定されるか、万一その科目が単位認定されなくても他の修得科目で卒業要件を充足するかなど、十分確認した上で出願してください。**
- （3）履修を希望する単位互換科目と本学が開設する授業科目が、同一名称又は講義概要（シラバス）の内容が同一の科目は、履修することができません。
- （4）履修を希望する単位互換科目の開講時間が本学で履修登録した授業科目の開講時間と同一時間帯に重なる場合（移動時間を含む）は、履修することができません。
- （5）履修を希望する単位互換科目の配当年次が本学の在籍年次を超える場合は、履修することができません。
- （6）協定校が提供する単位互換科目以外の科目は、履修することができません。

4. 出願書類（単位互換履修生許可願）の記入要領

- （1）出願書類は教育支援課窓口で配付する『募集要項』に綴られています。
- （2）出願書類は出願先の大学ごとに記入が必要となります。
- （3）履修の目的については、選考の参考としますので、出来る限り詳細に記入してください。
- （4）出願書類に貼付する写真の他に、写真を2枚を提出してください（身分証明書・受験許可書用）。

写真はカラーで、縦4.5cm×横3.5cm、3ヶ月以内に撮影した、正面、脱帽、背景無地のものとします。

IX. 国内留学制度について

本学では、異文化の交流・融合を促進し、視野が広く行動力のある人材を養成することを目的として、沖縄国際大学、関東学院大学、京都先端科学大学、松山大学、立正大学との間に単位互換（国内留学）協定を結んでいます。この制度は、半期または1年間、国内留学先大学（協定校）で開講している科目を履修できる制度で、国内留学先大学で修得した単位は、本学における授業科目の履修により修得した単位として認定できます。

※ 認定される単位数については、「1）本学に入学する前に大学、短期大学又は専修学校（専門課程）において修得し認定された単位」、「2）入学後に外国の大学又は短期大学に留学し認定された単位」を含め、60単位を上限とします。なお、国内留学先大学で修得した単位がすべて認定されるとは限りません。認定される科目などについては、教育支援課窓口で確認してください。

2025年度協定校（国内留学先大学）

2025年度の協定校は次のとおりです。なお、所属学部・学科により留学が可能な協定校（学部・学科）が異なります。

留学先 本学	沖縄国際大学	関東学院大学	京都先端科学大学	松山大学	立正大学
経済経営学部 経営学科	経済学部 法学部 総合文化学部 産業情報学部	国際文化学部 社会学部 法学部 経済学部 経営学部 理工学部 建築・環境学部 人間共生学部 教育学部 栄養学部	経済経営学部 健康医療学部 人文学部 バイオ環境学部 工学部	経営学部	経営学部
経済経営学部 経済学科				経済学部	—
法学部 法律学科				法学部	—
人文学部 人間科学科				人文学部	—
人文学部 英語英米文学科					
人文学部 こども発達学科					
心理学部 臨床心理学科				—	—

出願手続き等

10～11月頃に国内留学説明会を実施し、各協定校の概要、出願手続き等についての説明を行います。国内留学の対象となる学生の学年は、原則として2年次以上（人文学部、心理学部は2～3年次）とし、各大学10名以内となっています。

国内留学を希望する学生は、国内留学説明会に出席して、配布される『募集要項』をよく読み、所定の期限までに申請手続きを行ってください。

X. 外国留学制度と短期海外研修について

異文化間コミュニケーションの体験的修得と外国語運用能力の向上を図ると共に、国際理解を深めることを目的として、韓国、中国、台湾、タイ、ベトナム、アメリカ、イギリス、フランス、インドネシア、マレーシア等の12ヶ国30大学（2025.4現在）と交流協定等を結んでいます。様々なプログラムを実施しています。留学期間は最大で1年間在学期間に算入されます。留学期間中に修得した単位は、入学前の既修得単位等と合わせて60単位を上限として認定されますので、4年間で卒業することが可能です。

海外研修の一部は、教養科目「グローバル科目群」として履修することができます。詳細を確認したい方は、国際交流課窓口で確認してください。

その他、4月に実施する各プログラムのガイダンスで留学のための条件や費用、修得単位の認定等について説明しますので、希望者は出席してください。

本学が用意する留学制度と短期海外研修の概要は次のとおりです。詳細は、新年度ガイダンスで配布される「札幌学院大学国際プログラム2025」の冊子を参照してください。

1. 交換留学

大学間の交換交流協定に基づき実施される留学制度で、海外協定大学で半期または1年の単位で学びます。留学先での授業料は免除されます。一定以上の単位数を修得していることと基礎的な言語運用能力を有していることが応募資格になります

- | | |
|----------|-----------------------------------|
| (1) 韓国留学 | (5) フランス留学 |
| (2) 中国留学 | (6) ルーマニア留学 |
| (3) 台湾留学 | (7) マレーシア留学 |
| (4) タイ留学 | ※ (5)～(7)の詳細は国際交流課
に問い合わせください。 |



2. 半期留学

ホームステイまたは寮生活をしながら、アメリカ、イギリスの大学の語学学校で集中的に英語を学び、生活や文化を体験します。卒業が見込める単位数を修得していることに加え、英語英米文学科の学生はTOEICの指定するスコアを獲得していることが応募条件になります。選考基準を満たし、総合的な審査に基づき採用された学生は、奨学金の支給、授業料減免（半期分）の対象となります。

- (1) アメリカ留学
- (2) イギリス留学



3. 短期海外研修

海外において1ヶ月あるいは2～3週間程度の短期集中の単位の認定を伴う語学研修プログラム及び異文化交流プログラムです。

前提となる語学力は設けていませんが、最低限の語学運用能力は必要です。韓国のプログラムについては、日本語が出来る学生サポーターが企画に参加するので初めて海外体験をする学生でも不安はありません。

- | | |
|--------------|-------------|
| (1) アメリカコース | (5) 台湾コース |
| (2) イギリスコース | (6) タイコース |
| (3) 韓国コース | ※カナダコースは休止中 |
| (4) マレーシアコース | |



4. 本学での国際交流体験

本学では毎年「日本語教育文化交流プログラム」を実施しています。例年このプログラムには海外協定大学から多くの学生が参加します。協定大学からの学生のサポーターになることで、学内で国際交流を体験することが可能です。詳しくは国際交流課まで問い合わせください。



【交換留学における単位認定について】

半期もしくは1年、海外協定校での交換留学を修了した学生は、協定校での学修内容、学修時間、習得単位数に応じて、本学で開講している以下の科目を単位認定することができます。

交換留学の場合、通常は留学先大学内にある語学センターで語学を中心に学ぶことになるため、多くの科目を単位認定することは難しいのが現状です。語学力が高いと留学先大学の専門科目の履修が認められる場合があります。専門科目の履修を考えている場合は、国際交流課まで問合せください。

また、所属の学部学科によりカリキュラムが異なるため、交換留学を考える場合は、今後の単位修得について必ず教育支援課学科担当者へ相談してください。

No	認定科目	単位数	配当年次
1	英語ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB（派遣先での学修言語）	各1単位	1～4年
2	英語ⅢA、ⅢB、ⅣA、ⅣB（派遣先での学修言語）	各1単位	2～4年
3	応用英語A、B、C、D（派遣先での学修言語）	各1単位	2～4年
4	初級中国語・韓国語A、B、C、D（派遣先での学修言語）	各1単位	1～4年
5	応用中国語・韓国語A、B、C、D（派遣先での学修言語）	各1単位	2～4年
6	異文化グループワークA	2単位	1～4年
7	異文化グループワークB	2単位	1～4年
8	TOEICトレーニングA（派遣先での学修言語）	2単位	1～4年
9	TOEICトレーニングB（派遣先での学修言語）	2単位	1～4年
10	TOEICトレーニングC（派遣先での学修言語）	2単位	1～4年
11	TOEICトレーニングD（派遣先での学修言語）	2単位	1～4年
12	海外スタディⅠ	2単位	1～4年
13	海外スタディⅡ	2単位	1～4年
14	グローバルインターンシップⅠ	2単位	1～4年
15	グローバルインターンシップⅡ	2単位	1～4年
16	グローバルボランティアⅠ	2単位	1～4年
17	グローバルボランティアⅡ	2単位	1～4年

※半期留学の認定単位上限は24単位、1年留学の認定単位上限は48単位

※派遣先大学での学修時間及び単位数により、認定単位数の上限を決定

※帰国後に所定の申請手続きが必要（成績証明書、学修時間を証明する書類が必要）

留学修了者に対し認定できる単位

下記の表の記号の意味は、以下の通りです。

記号	
○	単位を修得した場合は「教養科目（全学共通科目）」として認定
●	単位を修得した場合は「専門科目」として認定
◇	単位を修得した場合は「自由選択科目」または「その他科目」として認定
－	履修はできません

アメリカ（カリフォルニア大学デーヴィス校、パシフィック・ルーセラン大学）

科 目 名	認定単位	経営	経済	人間	こども	心理	法
英語ⅣA・ⅣB	各1単位	○	○	○	○	○	○
応用英語A・B・C・D	各1単位	○	○	○	◇	◎	○
留学・観光英語B（1～4年次）	2単位	◇	○	●	◇	◎	●
英米文化論B（1～2年次） ※注1	2単位	◇	○	●	◇	◎	●
コミュニケーションスキルズ基礎（2年次）	2単位	◇	○	●	◇	◎	●
Current English（3～4年次）	2単位	◇	○	●	◇	◎	●
異文化コミュニケーションスキルズA（3～4年次）	2単位	◇	○	●	◇	◎	●
異文化コミュニケーションスキルズB（3～4年次）	2単位	◇	○	●	◇	◎	●
Discussion（3～4年次）	2単位	◇	○	●	◇	◎	●
Oral Communication A（1年次）	2単位			●	◇		
Oral Communication B（1年次）	2単位			●	◇		
Oral Communication C（2年次）	2単位			●	◇		
Oral Communication D（1～4年次）	2単位	◇	○	●	◇	◎	●

※心理学部では、◎の科目は20単位を上限とし、「その他の科目」として卒業要件に加算します。

イギリス（エセックス大学、エクセター大学（INTO））

科 目 名	認定単位	経営	経済	人間	こども	心理	法
英語ⅣA・ⅣB	各1単位	○	○	○	○	○	○
応用英語A・B・C・D	各1単位	○	○	○	◇	◎	○
留学・観光英語B（1～4年次）	2単位	◇	○	●	◇	◎	●
英米文化論A（1～2年次）	2単位	◇	○	●	◇	◎	●
コミュニケーションスキルズ基礎（2年次）	2単位	◇	○	●	◇	◎	●
Current English（3～4年次）	2単位	◇	○	●	◇	◎	●
異文化コミュニケーションスキルズA（3～4年次）	2単位	◇	○	●	◇	◎	●
異文化コミュニケーションスキルズB（3～4年次）	2単位	◇	○	●	◇	◎	●
Discussion（3～4年次）	2単位	◇	○	●	◇	◎	●
Oral Communication A（1年次）	2単位			●	◇		
Oral Communication B（1年次）	2単位			●	◇		
Oral Communication C（2年次）	2単位			●	◇		
Oral Communication D（1～4年次）	2単位	◇	○	●	◇	◎	●

※エセックス大学については、別途教育支援課窓口にお問い合わせください。

※心理学部では、◎の科目は20単位を上限とし、「その他の科目」として卒業要件に加算します。

X I. データサイエンス・A I 教育プログラムについて

各学部学科が行う教育課程以外のプログラムとして、全学的に展開する「データサイエンス・A I 教育プログラム」があります。本学の教育プログラムは、文部科学省が認定する数理・データサイエンス・A I 教育プログラム（リテラシーレベル）に認定されました。[認定期限：2029年3月31日まで] 以下を参考に、卒業までにプログラムを修了しましょう。

1. データサイエンス・A I 教育プログラム

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（物理空間）が高度に統合された「Society5.0」においては、フィジカル空間の膨大なデータをサイバー空間に蓄積し、そのデータをA I（人工知能）で解析して、その結果をフィジカル空間にフィードバックすることで、経済発展や社会課題の解決が実現されると考えられています。

このような新しい社会の到来に備えて、ビッグデータから有用な情報を可視化し、意思決定を行い、機械学習などのA I 技術で結果を分析・予測するスキルを身につけることが重要です。

そのために、これから社会に出る大学生には、データサイエンス・A I に関する基礎的な知識やスキルが不可欠です。また、社会の変化に対する意識を持つことや、データを扱う上での倫理観も求められます。本学ではこれらのことを学ぶために「データサイエンス・A I 教育プログラム」を全学的に展開しています。

2. プログラムの概要

データサイエンス・A I 教育プログラムは、次の2科目で構成しています。

■**データサイエンス概論**（教養科目：2単位）

■**コンピュータサイエンス概論**（教養科目：2単位）

また、関連科目として次の5科目を用意しています。

コンピュータ基礎A（教養科目：2単位）

コンピュータ基礎B（教養科目：2単位）

コンピュータ応用B（教養科目：2単位）

コンピュータ応用C（教養科目：2単位）

統計学（教養科目：2単位）

上記の7科目は、全学部全学科の学生が履修可能な科目となっています。

3. プログラムの修了要件

データサイエンス・A I 教育プログラムは、「**データサイエンス概論**」と「**コンピュータサイエンス概論**」を**必修科目**としています。この2科目4単位を修得することで、このプログラムを修了したと認められます。

4. プログラム修了の認定

データサイエンス・A I 教育プログラムの修了要件を満たした学生は、文部科学省が認定する数理・データサイエンス・A I 教育プログラムのリテラシーレベルの能力を身につけたことになります。本学のプログラムを修了し、希望する学生には修了証を発行します。申請方法については、成績発表後に情報ポータルで周知します。

XII. 『修学支援』 について

障がいのある学生への支援

本学では、アクセシビリティ推進委員会が中心となり、障がいのある学生に対し修学支援を行っています。修学支援は、専門のコーディネーターのもと、聴覚障がい学生への情報保障、視覚障がい学生・肢体不自由学生へのポイントテイク（代行筆記等）・通学介助、発達障がいや精神的な困難のある学生には、学生相談室と連携しながら個別相談や授業担当教員への配慮事項の伝達等を行っています。

また、定期試験時の配慮（別室受験等）は教育支援課と連携し行っています。支援を受ける際は、申請が必要です。障がい学生支援に関する相談、申請窓口は、江別キャンパスはC館2階サポートセンター、新札幌キャンパスは1階事務室内サポートセンターになります。

【情報保障の様子】



XⅢ. Webシラバスシステムの使い方

1. 情報ポータルへログイン

(1) ウェブブラウザで、本学のホームページ（<https://www.sgu.ac.jp/>）にアクセスし、[情報ポータル] をクリック。



(2) 情報ポータルログイン画面で [ユーザID] に学籍番号を入力し、[パスワード] を入力して、[OK] をクリック。

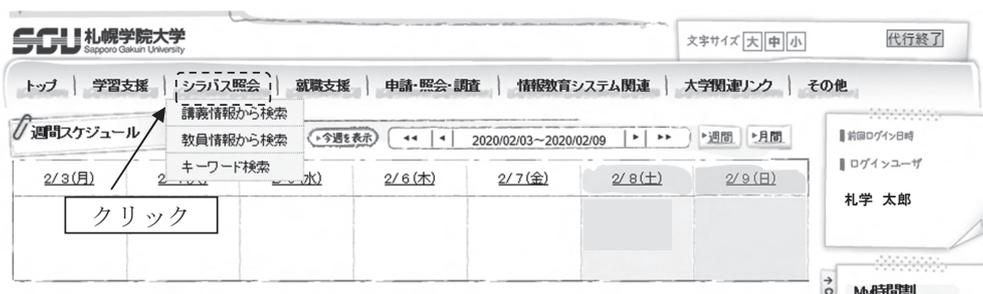


※情報ポータルログイン画面のURLは、<https://newportal.sgu.ac.jp/campusweb/top.do>です。
本学のホームページを介さず直接アクセスすることもできます。

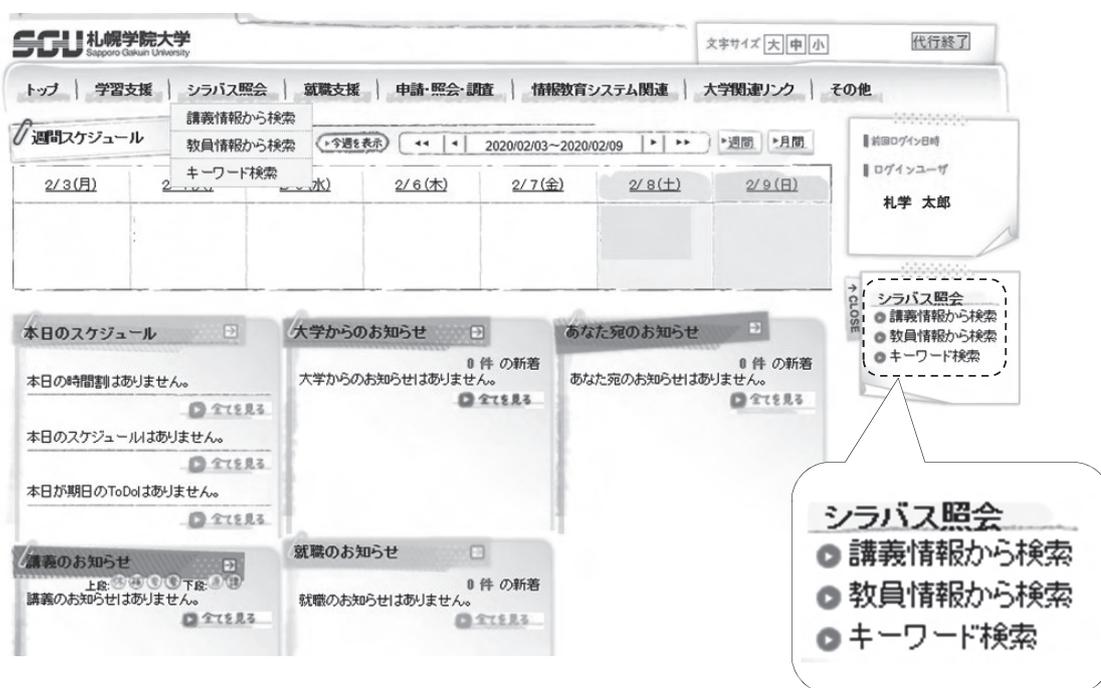


2. 情報ポータルシステムの“シラバス照会”メニューからの検索

(1) 情報ポータルの上部のメニューより、[シラバス照会] タブにカーソルを合わせるか、クリックします。



(クリックすると、右側にシラバス検索のメニューが表示されます。)



(2) 3通りの条件で、シラバスが検索できます。

- 3通りの検索方法があります
- A ● 講義情報から検索
 - B ● 教員情報から検索
 - C ● キーワード検索

- (3) - A-1. 講義情報で検索～講義名で検索～
 調べてみたい講義が決まっている場合は、[講義情報で検索] をクリック。
 (例として、教養科目の“英語”を調べます。)

講義情報から検索

検索条件

シラバスを検索する年度を選択し、各検索条件を入力して検索してください。

シラバスを検索する

年度: 2025 年度

キャンパス: 未選択

カリキュラム: 未選択 他学部を除く

分野系列: 未選択
(分野系列を指定する場合は、カリキュラムの選択が必要です。)

対象学年: 未選択
(対象学年を指定する場合は、カリキュラムの選択が必要です。)

講義名称: 英語

担当教員:

開講時期: 未選択

	月	火	水	木	金	土	その他
1	<input type="checkbox"/>						
2	<input type="checkbox"/>						
3	<input type="checkbox"/>						
4	<input type="checkbox"/>						
5	<input type="checkbox"/>						
6	<input type="checkbox"/>						
7	<input type="checkbox"/>						
他	<input type="checkbox"/>						

曜日・時限

シラバスを検索する

講義名を全て入力しなくても部分入力で検索可能

“英語”と入力

クリック

講義名に“英語”という文字が含まれる全ての講義が表示されます。

講義情報から検索

前画面へ戻る

講義一覧

シラバスを参照する講義名をクリックしてください。

11-20件表示/189件中 <<前の10件 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ... 次の10件>> 10 件表示

No	講義コード	講義名	開講期間	曜日・時限	担当教員
1	1014000111	英語IA(11)	前期	水曜日 1講時	中村 敦志
2	1014000112	英語IA(12)	前期	水曜日 1講時	宮武 香織
3	1014000113	英語IA(13)		水曜日 1講時	眞田 敬介
4	1014000114	英語IA(14)		月曜日 2講時	林 主恵
5	1014000115	英語IA(15)	前期	月曜日 2講時	コンウェイ SL
6	1014000116	英語IA(16)	前期	月曜日 2講時	タッカー J.A.
7	1014000117	英語IA(17)	前期	月曜日 2講時	ゲッツ T.H.
8	1014000118	英語IA(18)	前期	月曜日 2講時	コッター M.J.
9	1014000119	英語IA(19)	前期	木曜日 1講時	山添 秀剛
10	1014000120	英語IA(20)	前期	木曜日 1講時	岡崎 清

11-20件表示/189件中 <<前の10件 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ... 次の10件>> 10 件表示

[英語 I A (11)] をクリックすると、この講義のシラバス画面が表示されます。

シラバス参照

検索結果一覧へ戻る

お気に入り追加する

講義名	アジア事情B(1)
英文科目名	Cultures in Asia B
科目ナンバ	200LEA1223
担当者	諸 洪一
科目群	自由選択科目(教養)
対象学年	1年
単位数	2
開講期間	前期
曜日・時間・教室	前期 金曜日 2講時 E-301 教室

授業のねらい	<p>韓国をめぐる諸問題を講義の題材とする。有史以来日本と韓国は、人種、宗教、社会、文化の様々な面で密接な関わりをもっており、これを理解し、その発展してきた事情である。アジア共同性構想が進展され、共生を目指しているなかで、両国の密接な関係と相互理解の重要性は益々高まりつつある。講義では、歴史・地理の道徳と現在の社会構造や文化を紹介し、日韓関係および日本とアジアのあるべき関係を模索し、未来を展望していきたい。韓国を知ることで、日本をアジアに向けて発信していく手がかりを得ることを究極的ねらいとする。</p>																														
履修者が到達すべき目標	<p>韓国と北朝鮮の基本的な歴史・政治・社会体制について理解できるようにすると共に日韓の異文化コミュニケーションに関する理解を深められるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・韓国文化に対する基礎知識を身につけて理解を深めることができる。 ・異文化理解によって日文化に与える理解と関心の高揚に主体的に取り組むことができる。 ・日韓文化の共通点と相違点を理解を深め、異文化コミュニケーションに主体的に取り組むことができる。 ・未来の望ましい日韓関係のビジョンを持てるようになる。 																														
ディプロマ・ポリシーとの関係	<p>この授業は、経済学科、経営学科、人間科学科、英語英米文学科、こども発達学科のディプロマ・ポリシーの①②に、法律学科ディプロマ・ポリシーの①②、臨床心理学科ディプロマ・ポリシーの④⑤に関連しています。</p>																														
授業の進め方 学修上の留意	<p>テキストを使用せず、毎回配布するプリントと板書による講義形式とする。「授業のねらい」や「到達すべき目標」にあるような現代韓国の抱える様々な事柄(授業内容・計画)を事前に読んでもらうことで問題をひらきと理解を深めていく。</p> <p>【遠隔講義の場合】 ムードル上で配布付きのパワーポイント資料をアップし、視聴してもらい、視聴後課題モジュールに課題(小テスト、100文字程度)を提出することがある。</p>																														
アクティブラーニングの要素の有無	なし																														
IOTを活用した 双方向型授業の有無	なし																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業、事前・事後学修の内容</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1回</td> <td>事前 シラバスを読んでおく</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>授業 ガイダンス</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>事後 配布資料を復習する</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2回</td> <td>事前 配布資料の用語などを調べておく</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>授業 韓国を知る-韓国-銀禧の歴史</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">14回</td> <td>事前 配布資料の用語などを調べておく</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>授業 韓国の家族制度</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>事後 配布資料を復習する</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">15回</td> <td>事前 配布資料の用語などを調べておく</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>授業 韓国の宗教</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>事後 配布資料を総括し、異文化交流に主体的に取り組んでみる</td> <td>2.0</td> </tr> </tbody> </table>	回数	授業、事前・事後学修の内容	時間	1回	事前 シラバスを読んでおく	2.0	授業 ガイダンス	2.0	事後 配布資料を復習する	2.0	2回	事前 配布資料の用語などを調べておく	2.0	授業 韓国を知る-韓国-銀禧の歴史	2.0	14回	事前 配布資料の用語などを調べておく	2.0	授業 韓国の家族制度	2.0	事後 配布資料を復習する	2.0	15回	事前 配布資料の用語などを調べておく	2.0	授業 韓国の宗教	2.0	事後 配布資料を総括し、異文化交流に主体的に取り組んでみる	2.0	
回数	授業、事前・事後学修の内容	時間																													
1回	事前 シラバスを読んでおく	2.0																													
	授業 ガイダンス	2.0																													
	事後 配布資料を復習する	2.0																													
2回	事前 配布資料の用語などを調べておく	2.0																													
	授業 韓国を知る-韓国-銀禧の歴史	2.0																													
14回	事前 配布資料の用語などを調べておく	2.0																													
	授業 韓国の家族制度	2.0																													
	事後 配布資料を復習する	2.0																													
15回	事前 配布資料の用語などを調べておく	2.0																													
	授業 韓国の宗教	2.0																													
	事後 配布資料を総括し、異文化交流に主体的に取り組んでみる	2.0																													
授業科目に関連する実務経験の有無	実務経験なし																														
成績評価の基準 と方法を 講義に用いる フィードバックの 方法	<p>平常点(授業参加態度など)30%、期末テストの代りに随時実施する小テスト70%の割合で総合的に評価する。小テスト(随時)の結果は、その授業の最終で話し、前回の授業の振り返り次回授業の展開に役立てる。卒業するまでのための「特別課題」なるものはない。</p>																														
テキスト	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>著者名</th> <th>書名</th> <th>出版社</th> <th>ISBN/ISSN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>特に指定しない</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	著者名	書名	出版社	ISBN/ISSN	1.	特に指定しない																							
No	著者名	書名	出版社	ISBN/ISSN																											
1.	特に指定しない																														
参考文献	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>著者名</th> <th>書名</th> <th>出版社</th> <th>ISBN/ISSN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>秋月望・丹羽泉</td> <td>『韓国百科』</td> <td>大塚書店</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>伊藤聖人他監修</td> <td>『韓国を知る事典』</td> <td>平凡社</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>小倉紀麿</td> <td>『心で知る、韓国』</td> <td>岩波書店</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>小倉紀麿</td> <td>『韓国は一度の哲学である』</td> <td>講談社</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>高野悦子・山登義明</td> <td>『冬のノゾキから考える』</td> <td>岩波書店</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	著者名	書名	出版社	ISBN/ISSN	1.	秋月望・丹羽泉	『韓国百科』	大塚書店		2.	伊藤聖人他監修	『韓国を知る事典』	平凡社		3.	小倉紀麿	『心で知る、韓国』	岩波書店		4.	小倉紀麿	『韓国は一度の哲学である』	講談社		5.	高野悦子・山登義明	『冬のノゾキから考える』	岩波書店	
No	著者名	書名	出版社	ISBN/ISSN																											
1.	秋月望・丹羽泉	『韓国百科』	大塚書店																												
2.	伊藤聖人他監修	『韓国を知る事典』	平凡社																												
3.	小倉紀麿	『心で知る、韓国』	岩波書店																												
4.	小倉紀麿	『韓国は一度の哲学である』	講談社																												
5.	高野悦子・山登義明	『冬のノゾキから考える』	岩波書店																												
関連ページ																															
備考	<p>思考:30% 視察:20% 管理:50%。当該科目の内容は、生きる知恵を修得することに重きをおき、次に思考の深化や視野の広がりが図れる科目である。</p>																														
教員e-mailアドレス	ieshiアットマークeguc.ac.jp																														
オフィスアワー	木曜日 12:00~13:00 A422研究室																														
画像																															
ファイル																															

どのようなことを学び、何を修得することを目指しているかを掲載

ディプロマ・ポリシーとの関係を掲載

アクティブラーニングの要素や、双方向授業の要素について掲載

全15回または30回の各回の授業内容・事前事後学修を掲載

教員の実務経験について掲載

成績の評価方法を掲載

科目担当教員のメールアドレス
オフィスアワーの時間帯等を掲載

- (3) - A-2. 講義情報で検索～教員氏名で検索～
 調べてみたい講義が決まっている場合は、[講義情報で検索] をクリック。
 (例として、“石川 先生”を調べます。)

講義情報から検索

検索条件

シラバスを検索する年度を選択し、各検索条件を入力して検索してください。

シラバスを検索する

年度: 2026 年度

キャンパス: [-未選択-]

カリキュラム: [-未選択-] 他学部を除く

分野系列: [-未選択-] (分野系列を指定する場合は、カリキュラムの選択が必要です。)

対象学年: [-未選択-] (対象学年を指定する場合は、カリキュラムの選択が必要です。)

講義名称:

担当教員: 石川 ← “石川” と入力

開講時期: [-未選択-]

	月	火	水	木	金	土	その他
1	<input type="checkbox"/>						
2	<input type="checkbox"/>						
3	<input type="checkbox"/>						
4	<input type="checkbox"/>						
5	<input type="checkbox"/>						
6	<input type="checkbox"/>						
7	<input type="checkbox"/>						
他	<input type="checkbox"/>						

開講時期を指定する場合は、開講時期の選択が必要です。

シラバスを検索する ← クリック

名前に「石川」とつく先生の科目が表示されます。
 講義名をクリックすると、その講義のシラバスを見ることができます。

教員情報から検索

前画面へ戻る

講義一覧

シラバスを参照する講義名をクリックしてください。

1-10件表示/19件中 1 2 次の10件>> 10 件表示

No	講義コード	講義名	開講期間	曜日・時限	担当教員
1	1022000300	キャリア数学B	前期	火曜日 4講時	石川 千温
2	1022000500	企業の経営と仕事	後期	金曜日 3講時	石川 千温
3	1025000501	コンピュータ基礎A(1)		曜日 1講時	石川 千温
4	1025000502	コンピュータ基礎A(2)	前期	火曜日 2講時	石川 千温
5	1025000510	コンピュータ基礎A(10)	前期	月曜日 2講時	石川 千温
6	1025000513	コンピュータ基礎A(13)	前期	金曜日 2講時	石川 千温
7	1025000601	コンピュータ基礎B(1)	後期	火曜日 1講時	石川 千温
8	1025000602	コンピュータ基礎B(2)	後期	火曜日 2講時	石川 千温
9	1025000610	コンピュータ基礎B(10)	後期	月曜日 2講時	石川 千温
10	1025000613	コンピュータ基礎B(13)	後期	金曜日 2講時	石川 千温

1-10件表示/19件中 1 2 次の10件>> 10 件表示

- (3) - A-3. 講義情報で検索～曜日・講時で検索～
 調べてみたい講義が決まっている場合は、[講義情報で検索] をクリック。
 (例として、“前期 月曜日 1 講時”を調べます。)

月曜日 1 講時に開講される科目が表示されます。
 講義名をクリックするとその講義のシラバスが表示されます。

No	講義コード	講義名	開講期間	曜日・時限	担当教員
1	1014000305	英語ⅢA(5)	前期	月曜日 1講時	林 主恵
2	1014000306	英語ⅢA(6)	前期	月曜日 1講時	ミューア B.J.
3	1014000307	英語ⅢA(7)	前期	月曜日 1講時	スクルトン W.
4	1014000308	英語ⅢA(8)	前期	月曜日 1講時	ゲッツ T.H.
5	1014000702	英語ⅢB(2)	前期	月曜日 1講時	高橋 ヘレン
6	1014000703	英語ⅢB(3)	前期	月曜日 1講時	オルソン R.C.
7	1014000704	英語ⅢB(4)	前期	月曜日 1講時	ジョンソン R.J.
8	1014000705	英語ⅢB(5)	前期	月曜日 1講時	アトキンス R
9	1022000201	キャリア数学A(1)	前期	月曜日 1講時	皆川 雅章
10	1025000509	コンピュータ基礎A(9)	前期	月曜日 1講時	渡邊 慎哉

(4) - B. 担当教員で検索

自分のゼミ担当教員や担任教員など、講義の担当教員から講義を調べる場合は、
[担当教員で検索] をクリック。

(例として、石川 千温 先生を調べます。)

氏名欄に「石川」と入力して、[教員を検索する] をクリック

教員情報から検索

検索条件

シラバスを検索する年度を選択し、教員を検索してください。

年度	2025
氏名	石川
教員所属	--未選択--
専任 非常勤	<input type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 非常勤

検索

教員を検索する

名前に「石川」とつく先生が表示されます。

「石川 千温」先生の名前の横にある [シラバスを検索する] をクリック。

教員情報から検索

検索条件

シラバスを検索する年度を選択し、教員を検索してください。

年度	2025
氏名	石川
教員所属	--未選択--
専任 非常勤	<input type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 非常勤

検索

教員を検索する

検索結果 4 件
該当する教員の参照したい情報を選択してください。

氏名(漢字)	専任・非常勤	教員所属
1 石川 園代	非常勤	シラバスを検索する
2 石川 千温	専任	シラバスを検索する
3 石川 正人	非常勤	シラバスを検索する

石川 千温先生の講義一覧が表示されます。

講義名をクリックすると、シラバスを見ることができます。

教員情報から検索

前画面へ戻る

講義一覧

シラバスを参照する講義名をクリックしてください。

1-10件表示/19件中 1 2 次の10件>> 10 件表示

No	講義コード	講義名	開講期間 曜日・時限	担当教員
1	1022000900	キャリア数学B	前期 火曜日 4講時	石川 千温
2	1022000500	企業の経営と仕事	後期 金曜日 3講時	石川 千温
3	1025000501	コンピュータ基礎A(1)	前期 火曜日 1講時	石川 千温
4	1025000502	コンピュータ基礎A(2)	前期 火曜日 2講時	石川 千温
5	1025000510	コンピュータ基礎A(1.0)	前期 月曜日 2講時	石川 千温
6	1025000513	コンピュータ基礎A(1.3)	前期 金曜日 2講時	石川 千温
7	1025000601	コンピュータ基礎B(1)	後期 火曜日 1講時	石川 千温
8	1025000602	コンピュータ基礎B(2)	後期 火曜日 2講時	石川 千温
9	1025000610	コンピュータ基礎B(1.0)	後期 月曜日 2講時	石川 千温
10	1025000613	コンピュータ基礎B(1.3)	後期 金曜日 2講時	石川 千温

1-10件表示/19件中 1 2 次の10件>> 10 件表示

- (5) - C. キーワードで検索
- 講義名のキーワードで科目を検索することができます。
- 例として、“経済”と“日本”というキーワードを入力して、
[シラバスを検索する]をクリック。

キーワード検索

検索条件

シラバスを検索する年度を選択し、検索キーワードを入力して検索してください。

年度: 2025

検索キーワード: 経済 日本

“経済 日本”と入力

シラバスを検索する

“経済”と“日本”という文字が、シラバス内に掲載されている全ての講義が表示されます。講義名をクリックすると、その講義のシラバスを見ることができます。

キーワード検索

前画面へ戻る

講義一覧

シラバスを参照する講義名をクリックしてください。

1-10件表示/136件中 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ... 次の10件>> 10 件表示

No	講義コード	講義名	開講期間 曜日・時限	担当教員
1	1011000201	アジア事情A(1)	前期 水曜日 3講時	網谷 義男
2	1012000101	異文化グループワークA(1)	前期 木曜日 2講時	黄 昕 藤 郁
3	1021000200	外国文学	日 4講時	岡崎 清
4	1021000301	海外スタディ(1)	後期 水曜日 5講時	吉川 哲生 黄 昕
5	1021000401	海外スタディ(1)	後期 木曜日 6講時	吉川 哲生 黄 昕
6	1022000601	教養ゼミナールA(1)	前期 木曜日 5講時	黄 昕
7	1022000605	教養ゼミナールA(5)	前期 木曜日 2講時	諸 洪一

XIV. 成績照会について

前期の成績は9月下旬頃、後期の成績は2月末頃に、情報ポータルでお知らせする予定です。各履修科目の評価と単位充足状況を必ず確認してください。成績通知日は、情報ポータル等でお知らせします。

また、成績通知の評価とは別に半期毎にGPA（Grade Point Average）を算出してお知らせしています。GPAは履修登録単位数を分母にして計算するので、履修を放棄した科目があると数値が低くなります。詳しくは、『学部共通事項Ⅳ. 学修のための基礎知識』のGPAの項目を参照してください。

次ページ以降に各学部・学科ごとの単位修得状況のページを掲載しますので、参考にしてください。なお、カリキュラム変更等により実際のページとは異なる場合があります。

ここをクリック

科目ごとの成績を確認してください。 クリックすると単位修得状況が表示される

プレビューを確認して下さい クリックすると印刷される

科目一覧を見る	単位修得状況を見る	GPAを見る	印刷する
分野系列名/科目名			
単位			
得点			
評価			
年度			
期間			
教養科目			
基礎科目群(英語・必修)			
英語IA	1	89	A
英語IIA	1	75	B
英語IIB	1	70	B
英語IIB	1		欠席
英語IIB	1		取消
基礎科目群(選択)			
アカデミックライティングA	2	88	A
アカデミックライティングB	2	85	A
コンピュータ基礎A	2	89	A
コンピュータ基礎B	2	88	S
人文・社会・健康・自然科目群			
アジア史	2	89	C
法学概説	2	80	A
経済学概説	2	97	S
くらしと現代経済	2	100	S

S（秀）、A（優）、B（良）、C（可）評価を得た科目は合格となり単位認定されます。
 D評価は不合格として単位認定されません。「欠席」となっている科目は、試験欠席あるいは所定のレポートを提出しなかったため単位認定ができない科目です。「取消」は履修登録期間後の申請期間に学生自身の申し出により履修を取り消したものを示します。この表示がされている科目については、GPA算定の対象外となります。

成績照会

科目一覧を見る 単位修得状況を見る GPAを見る [印刷する](#)

集計条件名	必要単位数	修得済単位数	履修中単位数	不足単位数
教養科目	20	0	6	20
基礎科目群(必修英語)	4	0	4	4
基礎科目群(選択)				
人・社・健・自(選択)			2	
キャリア・総合(選択)				
地域連携科目群				
グローバル科目群				
他学科教養科目(上限14単位)				
専門科目	84	0	6	84
ゼミナール(必修)	8	0	4	8
専門基礎科目群	34	0	2	34
専門基礎科目Ⅰ群(選択)	8	0	2	8
専門基礎科目Ⅱ群(選択)	12	0	0	12
専門基礎科目Ⅲ群(選択)	8	0	0	8
専門基礎科目Ⅳ群(選択)				
コース科目群	28	0	0	28
コース選択必修科目	8	0	0	8
コース科目				
コース外科目群				
プログラム科目群				
公務員プログラム				
金融プログラム				
情報プログラム				
宅建プログラム				
その他教養・専門科目				
学科指定外教養科目				
卒業要件合計	124	0	12	124
面接授業	64	0	12	64
遠隔授業				

卒業するために必要な単位数

教養科目全体で必要な単位数

※数字が表示されていない場合は卒業要件をすでに満たしている

卒業するために必要な要件ごとの残り単位数

専門科目全体で必要な単位数

専門科目全体で残り必要な単位数

卒業するために必要な総単位数

修得済みの総単位数

卒業するために必要な124単位に対する残りの総単位数

成績照会

→ 印刷する

科目一覧を見る	単位修得状況を見る	GPAを見る		
集計条件名	必要単位数	修得済単位数	履修中単位数	不足単位数
■教養科目	20	0	8	20
■専門科目	80	0	4	80
基礎科目群+ゼミナール科目群+実践科目群	12	0	4	12
基礎科目群選択必修	2	0	0	2
基本科目群+展開科目群	20	0	0	20
基本科目群選択必修	10	0	0	10
展開科目群選択必修	8	0	0	8
他学部他学科専門<上限24>				
■その他の教養科目				
■卒業要件合計	124	0	12	124
面接授業	64	0	12	64
遠隔授業				

卒業するために必要な要件ごとの単位数

教養科目全体に必要な単位数

専門科目全体に必要な単位数

卒業するために必要な要件ごとの残り単位数

教養科目全体で残り必要な単位数

専門科目全体で残り必要な単位数

※数字が表示されていない場合は卒業要件をすでに満たしている

卒業するために必要な総単位数

修得済みの総単位数

卒業するために必要な 124 単位に対する残りの総単位数

成績照会

科目一覧を見る 単位修得状況を見る GPAを見る 教養科目修得単位数総計 印刷する

集計条件名	必要単位数	修得済単位数	履修中単位数	不足単位数
■教養科目	24	20	2	4
基礎科目群(英語・必修)	8	6	2	2
基礎科目群(履修必修)		8		
人文・社会・健康・自然科目群	4	6	0	
キャリア科目群				
■専門科目	80	48	26	32
専修基礎科目(選択必修)	2	2	0	
専修基礎科目(必修)	26	16	6	10
専修実習科目①(選択必修)	2	0	0	2
専修実習科目②(選択必修)	2	2	0	
専修科目		28	20	
■その他の科目(上限20単位)				
学科指定以外の教養科目及び他学部科目				
■卒業要件合計	124	68	28	56
■面接授業	64	68	28	
■遠隔授業				

卒業するために必要な総単位数 修得済みの総単位数 卒業するために必要な124単位に対する残りの総単位数

卒業するために必要な総単位数のうち、面接授業(教室で授業を受ける)による科目を修得しなくてはならない総単位数 面接授業(教室で授業を受ける)による科目の修得済み総単位数

卒業するために必要な要件ごとの残り単位数

教養科目全体で残り必要な単位数

専門科目全体で残り必要な単位数

※数字が表示されていないのでこちらの卒業要件はすでに充足している

